



第6章 万博会期中の万博 TDM の取組

1. 万博会期中における広報

万博会期中の広報は、万博 TDM 取組期間である 6 月（混雑期）、お盆明けから会期終盤（最混雑期）の2つのフェーズにおいて実施した。万博 TDM パートナー登録件数及び個人の認知度向上の必要性を踏まえ、会期終盤の最混雑期には、これまでの鉄道広告や WEB 広告等に加え、テレビ CM による呼びかけを実施し、万博 TDM の取組への協力を働きかけた。



出典：第5回 交通円滑化推進会議資料

図 6.1 万博会期中の広報方針

2. 6月（混雑期）における広報

(1) 方針

万博開幕後の最初の万博 TDM 取組期間であり、万博 TDM の取組への協力を促すためのポスターやチラシ、WEB 広告等により広報を実施した。広報掲出にあたっては、交通円滑化推進会議の幹事団体である経済団体（関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会）や鉄道事業者（JR 西日本、阪神電鉄、阪急電鉄等）、道路管理者（阪神高速道路、西日本高速道路等）、国機関（近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿経済産業局）とも連携し、各々が所有する施設や広報誌も活用し、広く働きかけを行った。

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



(2) 広報物のデザインの趣旨

「直感的な分かりやすさ」で利用者の行動変容を促すことに主眼をおき、交通混雑が想定された6月及び8月中旬から10月を色分けし、回避すべき時間帯はピクトグラムを用いて一目で認識できるようにした。また、混雑区間を表示した地図については、前回(開幕100日前)のポスターより情報を簡素化し、混雑区間を強調表示することで、視覚的に認識しやすいよう工夫した。

Osaka Metro・阪神高速をご利用の皆さまへ

万博TDM 6月の交通混雑緩和にご協力をお願いします。

6月はTDM取組期間です！

万博開催期間 4/13-10/13

万博TDMでのご協力いただきたい取組

- 移動量・配達量を削減
- 混雑する時間帯・時間を回避
- 交通混雑を避けた場所・ルートへ変更

予測される主な交通混雑箇所

鉄道 平日朝8時台～10時台

道路 平日午前中

11号池田線 渋滞延伸

16号大阪港線 渋滞延伸

※湾岸舞洲出口 交通が集中

万博TDMパートナーのインセンティブについて

- 交通混雑予測情報の発信
- 万博TDMステッカーの配布
- 名刺用TDMロゴの提供
- リーフレットへの企業名掲載

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議 56page 2025

Osaka Metro・阪神高速をご利用の皆さまへ

万博TDM 6月の交通混雑緩和にご協力をお願いします。

6月はTDM取組期間です！

万博開催期間 4/13-10/13

万博TDMでのご協力いただきたい取組

- 移動量・配達量を削減
- 混雑する時間帯・時間を回避
- 交通混雑を避けた場所・ルートへ変更

予測される主な交通混雑箇所

鉄道 平日朝8時台～10時台のOsaka Metro 御堂筋線 中央線

道路 平日午前中の国道5号池田線 池田線 湾岸舞洲出口、会場周辺の一般道路

万博TDMの詳細情報はこちらから

万博TDMパートナー登録をお願いします。

大阪公式LINEで交通混雑予測情報を発信！

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議 56page 2025

予測される来場者数

1日あたりの来場者数 約22.7万人

1日の目標的な来場者数

160%

140%

TDMとは

TDMとは、交通需要マネジメント(Transportation Demand Management)の場で鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・ルートの変更など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組をいいます。

万博TDMパートナーのインセンティブについて

- 交通混雑予測情報の発信
- 万博TDMステッカーの配布
- 名刺用TDMロゴの提供
- リーフレットへの企業名掲載

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議 56page 2025

図 6.2 6月(混雑期)におけるポスター(上)・チラシ(下)

(3) 広報物の掲出場所(鉄道・道路等)

開幕100日前に実施した広報と同様に、鉄道事業者、道路管理者ならびに、交通円滑化推進会議幹事団体と連携を図り、広く周知を行った。

a) 鉄道広告

Osaka Metro 主要駅の駅構内や車内に広告を掲出した。

表. 6.1 Osaka Metro での掲出場所

媒体	掲出場所	掲出期間
車内ドア横ポスター ※1車両につき1枚掲出	Osaka Metro 全線の全車両(1,440枚) ※ニュートラム線除く	2025年5月20日～6月30日
駅構内ポスター	Osaka Metro 御堂筋線:新大阪駅、梅田駅、 なんば駅、天王寺駅(各2枚) Osaka Metro 中央線:本町駅、弁天町駅(各2枚)	2025年5月19日～6月8日
	Osaka Metro 御堂筋線:新大阪駅(2枚)、 梅田駅(6枚)、心斎橋駅(2枚)、なんば駅(4枚) Osaka Metro 谷町線:東梅田駅(2枚)、 天王寺駅(2枚) Osaka Metro 四つ橋線:西梅田駅(2枚)	2025年6月9日～15日
	Osaka Metro 御堂筋線:新大阪駅(2枚)、 梅田駅(2枚)、なんば駅(2枚) Osaka Metro 谷町線:天満橋駅(2枚)、 谷町九丁目駅(2枚)、天王寺駅(2枚) Osaka Metro 四つ橋線:西梅田駅(2枚)、 Osaka Metro 千日前線:谷町九丁目駅(4枚) Osaka Metro 堺筋線:北浜駅(2枚)	2025年6月16日～29日
	Osaka Metro 中央線:本町(1～2枚)	2025年6月9日～15日(2枚) 2025年6月16日～22日(1枚) 2025年6月23日～29日(2枚)



写真 6.1 Osaka Metro 駅構内及び車内ポスター



b) 道路施設を活用した広報

混雑が予想される阪神高速道路や万博会場周辺道路の交通混雑緩和に向け、道路管理者の協力を得て、横断歩道橋等への横断幕、懸垂幕の掲出や、道路情報板の活用により混雑緩和の取組への協力を働きかけた。

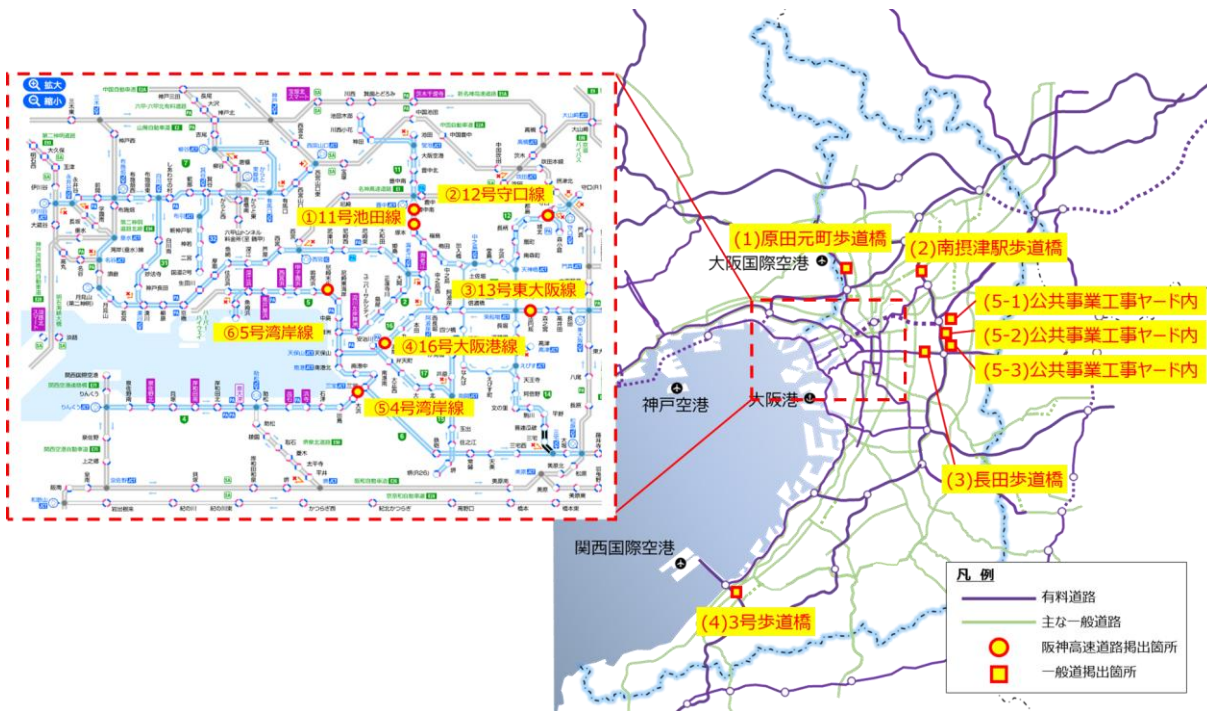
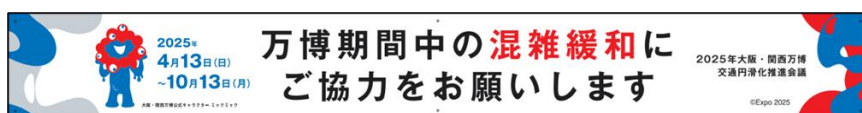
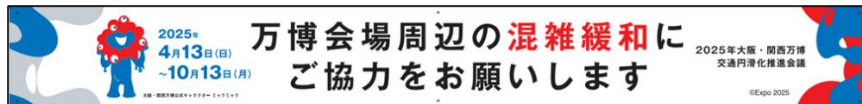


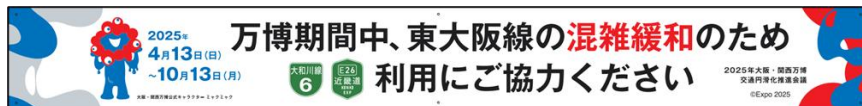
図 6.3 横断幕等掲出位置図



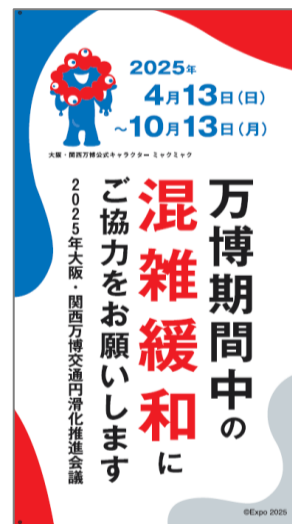
横断幕・デザイン A



横断幕・デザイン B



横断幕・デザイン C



懸垂幕・デザイン D

図 6.4 横断幕及び懸垂幕デザイン

表 6.2 阪神高速道路掲出場所一覧

路線名	掲出箇所	デザイン	掲出期間
①11号池田線	豊中南-加島間(7kp 付近) 下り正面	デザイン A	2025年3月29日 ～10月13日
	豊中南-加島間(4.8kp 付近) 下り裏面		
②12号守口線	城北-守口間(7.3kp 付近) 下り正面		
	城北-守口間(7.3kp 付近) 下り裏面		
③13号東大阪線	法円坂出入口付近(1.1kp 付近) 下り正面	デザイン C	2025年4月1日 ～10月13日
④16号大阪港線	安治川-波除間(3.6kp 付近) 上り正面		
⑤4号湾岸線	大浜-三宝間(5.8kp 付近) 上り裏面		
	大浜-三宝間(5.8kp 付近) 下り裏面		
⑥5号湾岸線	尼崎末広出入口付近 (10.05kp 付近)下り裏面	デザイン B	



12号守口線下り



13号東大阪線下り

写真 6.2 横断幕(阪神高速道路)

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



表 6.3 一般道掲出箇所一覧

路線名	掲出箇所	デザイン	掲出期間
主要地方道 大阪池田線	(1)原田元町歩道橋(南東行正面)	デザイン A	2025年1月17日 ～10月10日
主要地方道 大阪中央環状線	(2)南摂津駅歩道橋(南東行正面)		
一般国道308号	(3)長田歩道橋(西行正面)		
主要地方道 大阪臨海線	(4)3号歩道橋(北東行正面)		
主要地方道 大阪中央環状線	(5-1)公共事業工事ヤード内	デザイン D	2024年12月25日 ～2025年10月10日
	(5-2)公共事業工事ヤード内		2025年3月21日 ～5月23日
	(5-3)公共事業工事ヤード内		2025年5月23日 ～10月10日

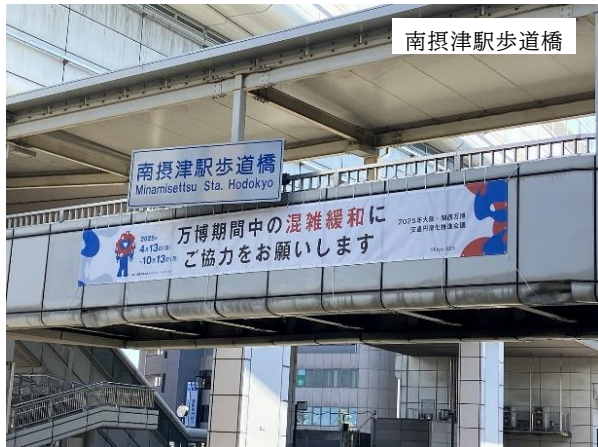


写真 6.3 歩道橋横断幕



写真 6.4 懸垂幕

(4) WEB 広告

万博 TDM パートナー登録促進と、企業や府民・市民等へ万博TDMの取組への協力をさらに促すために、開幕 100 日前でも配信した媒体に加え新たな媒体でも実施した。

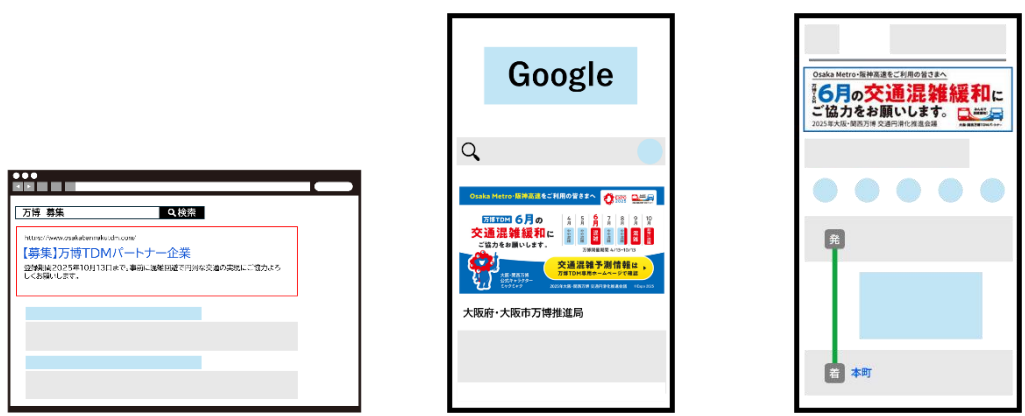
府民・市民等が日常的に使用している Yahoo! 乗換案内や LINE を追加し、さらに YouTube 動画の視聴者と万博 TDM 専用ホームページ訪問者に再訴求ができる Google デマンドジェネレーションの 3 媒体を追加して、配信を実施した。

表 6.4 WEB 広告一覧

媒体種類	媒体概要	掲出先	目的	配信対象	配信期間と実績
検索広告	特定のキーワードを検索した際に、検索結果の画面内に表示できる媒体	Google 検索広告	・万博 TDM パートナー登録	・中央区、天王寺区等の エリアの従業員、居住者	2025年4月22日 ～5月31日 ・表示回数:69,965回 ・クリック数:2,062回
		Yahoo! 検索広告		・大阪市内の従業員	2025年4月22日 ～5月31日 ・表示回数:163,022回 ・クリック数:9,537回
デマンド ジェネレーション	Google 社の持つ、YouTube や Gmail 等の独自媒体に画像もしくは動画の掲出ができる媒体	YouTube・ Gmail 等	・万博 TDM パートナー登録	・YouTube 動画視聴者 ・万博 TDM 専用ホームページ訪問者	2025年4月25日 ～9月11日 ・表示回数:4,399,751回 ・クリック数:79,245回
ディスプレイ 広告	ウェブサイトやアプリ等の広告枠に画像とテキストを掲出できる媒体	Yahoo! 乗換案内	・府民・市民等 への行動変容	・本町駅を到着駅として 検索した層	2025年5月12日 ～6月30日 ・表示回数:1,484,945回 ・クリック数:2,008回
		Facebook Instagram		・万博 TDM パートナー登録	・梅田やなんば等の主要な ビジネス街で働く層 ・万博 TDM 専用ホームページ訪問者
		ニュース サイト等の 広告面※	・万博 TDM パートナー登録	・企業代表、役員クラスの 役職者層	2025年4月7日 ～5月31日 ・表示回数:845,503回 ・クリック数:44,456回
				・Osaka Metro 御堂筋 線、中央線を利用する 従業員層	2025年4月7日 ～9月11日 ・表示回数:1,140,843回 ・クリック数:49,962回
LINE	・府民・市民等 への行動変容	・大阪市、池田市・東大阪 市等の人口ボリューム が大きいエリアの居住 者層	2025年6月1日 ～9月11日 ・表示回数:10,920,876回 ・クリック数:94,675回		

※ マイクロアド社の広告配信サービスである UNIVERSE Ads を活用

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



Google 検索広告、
Yahoo! 検索広告

デマンドジェネレーション
※YouTube や Gmail 検
索画面等の Google の機
能内に掲載

Yahoo! 乗換案内
※本町駅を到着駅とした案
内画面上部に掲載



Facebook, Instagram
※一般投稿された画像や
動画の合間等に掲載



ニュースサイト等の広告面



LINE
※トーク画面の上部等に掲載

図 6.5 WEB 広告掲載イメージ



図 6.6 WEB 広告(Instagram)(左)・掲載バナー(右2点)



3. 会期終盤(最混雑期)における広報

(1) 方針

認知度の飛躍的向上や情報の拡散に期待し、関西のテレビやラジオ番組に多数出演しており、親しみやすいタレントとして、「海原やすよ ともこ」の二人を起用した訴求力の高いテレビ CM を放映する等、様々な媒体を活用し広報を実施した。広報物の掲出にあたっては、特に混雑が予測される Osaka Metro 中央線等の駅や車内広告をはじめ、交通円滑化推進会議の幹事団体である経済団体や鉄道事業者及び道路管理者等と引き続き連携し、広く働きかけを行った。

(2) 広報物のデザインの趣旨

a)ポスター・チラシ

関西弁の語りかけで、馴染みの無い言葉である万博 TDM を身近に感じられるよう工夫した。全体はポップな配色とあしらいで明るくし、特に「10 月が非常に混雑する」点については、カレンダー形式で視覚的に強調し、強い注意喚起を図れるよう制作した。

さらに、利用者の具体的な取組の後押しとなるよう、Osaka Metro における「万博 TDM 推進キャンペーン」や万博 TDM の取組に賛同したカード会社による「万博 TDM タッチ決済キャンペーン」の情報も記載した。



図 6.7 会期終盤(最混雑期)におけるポスター(上)・チラシ(下)

また、具体的な取組事例を切り出した3種類のポスターも制作した。関西弁の吹き出しで語りかけ、万博 TDM への協力を身近に感じさせるデザインとした。また、それぞれに異なるポップな色を採用し視覚的に差別化した。さらに明るい配色と親近感ある表現で目を引き、スムーズな交通行動変容を促す構成とした。



図 6.8 会期終盤(最混雑期)における万博 TDM の取組を強調したポスター

b) テレビ CM 用動画及び連動した広報物の制作

テレビ CM 及び WEB 広告用に動画を制作した。

「海原やすよ ともこ」の二人を「万博へ行く人」と「仕事へ行く人」と異なる立場として描き、「万博へ行く人」と「仕事へ行く人」を対比させる構成とした。映像はワイドレンズのパース効果で「走る・飛び出す」の躍動感を強調し、急な場面転換で視聴者を惹きつける手法を採用した。演出のポイントとなる多彩な色と流れるようなオブジェクトは、通勤や通学、観光等様々な目的の人々が、互いに譲り合いスムーズに共存する様子を表現した。

衣装の色も含めたこの設計により、万博 TDM の取組への協力によって混雑が解消され、全員の移動と生活が「快適になる」世界観を視覚的に具現化した。



図 6.9 会期終盤(最混雑期)における広報用動画

また、テレビ CM との連動性を重視し、CM 本編のカットを切り取ってポスターのビジュアルに採用した。映像と全く同じ絵柄を用いることで、クリエイティブのトーンを統一した。これにより、CM に触れた視聴者がポスターを見た際、瞬時に同一の取組であると認知できるように設計した。メディア間の視覚的イメージを一致させることで記憶の定着を促し、訴求効果の最大化を図った。



図 6.10 会期終盤(最混雑期)におけるテレビ CM との連動ポスター(抜粋)

(3) 広報物の掲出場所(鉄道・道路等)

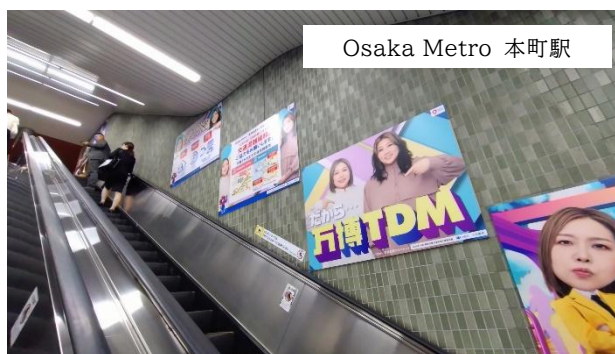
鉄道事業者、道路管理者ならびに、交通円滑化推進会議幹事団体と連携を図り、広く周知を行った。

表 6.5 Osaka Metro での掲出場所

媒体	掲出場所	掲出期間
車内ドア横ポスター ※1車両につき1枚掲出	Osaka Metro 全線の全車両(1,440 枚) ※ニュートラム線除く	2025年9月2日～10月13日
車内中吊りポスター ※1車両につき1枚掲出	Osaka Metro 御堂筋線(430 枚) Osaka Metro 谷町線(300 枚) Osaka Metro 四つ橋線(160 枚) Osaka Metro 中央線(430 枚) Osaka Metro 千日前線(80 枚) Osaka Metro 堺筋線(190 枚)	2025年8月4日～31日
車内モニター	Osaka Metro 御堂筋線 31 編成 Osaka Metro 中央線 10 編成	2025年9月15日～10月12日
改札内ポスター	Osaka Metro 本町駅(62 枚) ※階段やエスカレーター横に連続してポスターを掲出し、集中的に広報を実施	2025年9月22日～28日



Osaka Metro 車内



Osaka Metro 本町駅



Osaka Metro 本町駅



Osaka Metro 本町駅

写真 6.5 Osaka Metro 駅構内及び車内ポスター

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



写真 6.6 関西鉄道協会(大阪モノレール) サイネージ(左)・近畿日本鉄道 サイネージ(右)



写真 6.7 ATC サイネージ(左)・関西経済同友会 ポスター(右)



写真 6.8 関西経済連合会 ポスター(左)・近畿経済産業局 ポスター(右)

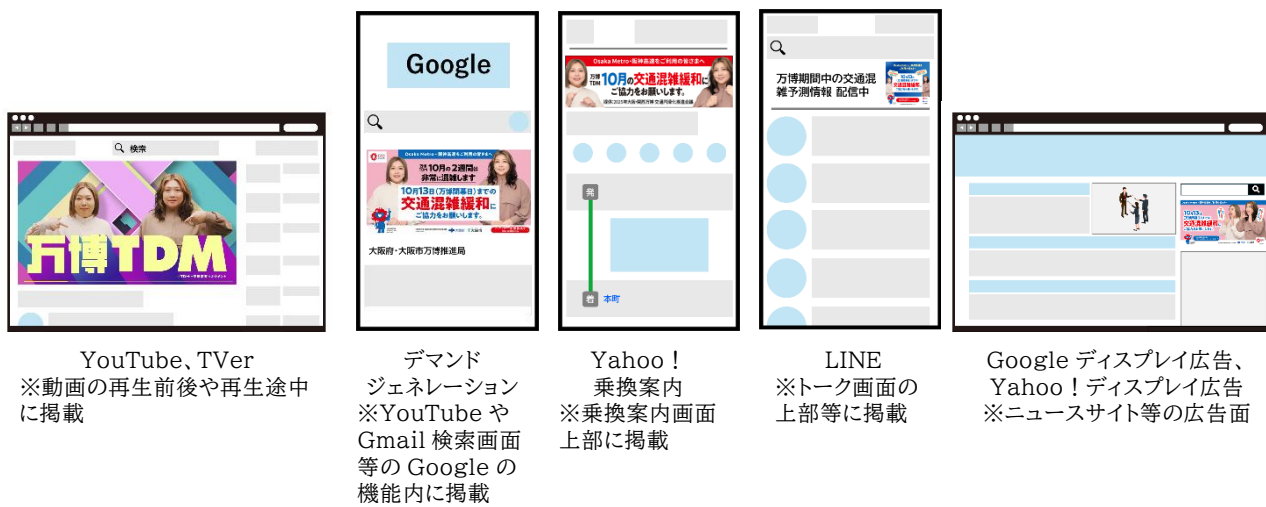
(4) WEB 広告

会期終盤にかけて駆け込み需要による来場者増加が見込まれることから、企業や府民・市民等へ、万博TDMの取組の協力の呼びかけを強化するための媒体選定を実施した。

6月期での媒体の中で、企業の役職者層等に配信対象を絞っていた媒体を一部中止し、より幅広い層への配信が可能な Google・Yahoo! での広告を追加した。さらに、テレビ CM の放映と連動した動画を配信できる TVer と YouTube を追加して、配信を実施した。

表 6.6 WEB 広告一覧

媒体種類	媒体概要	掲出先	目的	配信対象	配信期間と実績
動画広告	ウェブサイトやアプリの広告枠に動画を掲出できる媒体	YouTube	・府民・市民等への行動変容	・大阪市及び周辺市（池田・東大阪・堺・吹田・豊中・枚方・八尾・和泉）居住者	2025年9月12日 ～10月12日 ・表示回数:1,818,142回 ・クリック数:179回
		TVer			2025年9月12日 ～10月12日 ・表示回数:338,450回 ・クリック数:計測不可
デマンドジェネレーション	Google 社の持つ、YouTube 等の媒体に画像もしくは動画を掲出できる媒体	YouTube・Gmail・Discover ほか	・万博 TDM パートナー登録	・YouTube 動画視聴者 ・万博 TDM 専用ホームページ訪問者 ・大阪府内の従業員	2025年9月12日 ～10月12日 ・表示回数:2,073,569回 ・クリック数:27,386回
ディスプレイ広告	ウェブサイトやアプリ等の広告枠に画像とテキストを掲出できる媒体	Yahoo! 乗換案内	・府民・市民等への行動変容	・阿波座駅、弁天町駅、本町駅を到着駅として検索した層	2025年9月1日 ～9月31日 ・表示回数:2,513,355回 ・クリック数:14,276回
		Google ディスプレイ 広告	・府民・市民等への行動変容	・大阪市及び周辺市（池田・東大阪・堺・吹田・豊中・枚方・八尾・和泉）居住者	2025年9月12日 ～10月12日 ・表示回数:1,531,998回 ・クリック数:17,093回
		Yahoo! ディスプレイ 広告			2025年9月12日 ～10月12日 ・表示回数:2,513,355回 ・クリック数:14,276回
		LINE			2025年9月12日 ～10月12日 ・表示回数:3,209,260回 ・クリック数:18,045回



YouTube, TVer
※動画の再生前後や再生途中に掲載

デマンド
ジェネレーション
※YouTube や
Gmail 検索画面
等の Google の
機能内に掲載

Yahoo!
乗換案内
※乗換案内画面
上部に掲載

LINE
※トーク画面の
上部等に掲載

Google ディスプレイ広告、
Yahoo! ディスプレイ広告
※ニュースサイト等の広告面

図 6.11 WEB 広告掲載イメージ



図 6.12 WEB 広告(Yahoo!乗換案内)(左)・掲載バナー(右2点)

(5) テレビ CM の放映

2025(令和7)年 9 月 12 日から 10 月 12 日の期間で関西 2 府 4 県に対し、幅広い層へ認知拡大と行動変容を促すため、読売テレビ、MBS テレビ、関西テレビ、ABC テレビの 4 局で CM159 本、パブリシティ広告※7 本を放映した。放映は、朝から夜までの広い時間帯で実施する方針のもと、特に、放映期間の前半に回数を増やすことや、在宅率が高い平日の時間帯や、休日に放映を多くする等、視聴する機会が増えるよう工夫した。

※テレビ番組の本編(ニュース、情報番組のコーナー、バラエティ等)の中で、商品やサービスが「情報・話題」として取り上げられる広告。



図 6.13 テレビパブリシティ広告(読売テレビ)



(6) 万博 TDM 専用ホームページの更新

特に視認性の高いページ上部へ、タレントを起用した 2 種類の誘導ボタンを新設し、YouTube で公開中のテレビ CM 動画やチラシへアクセスしやすくし、スムーズな情報提供と取組への協力の働きかけを強化した。



図 6.14 万博 TDM 専用ホームページ(上部)(2025年9月時点)



(7) その他の広報

a) はがき(ダイレクトメール)の送付

① 会期終盤に向けた「万博 TDM パートナー未登録企業」への働きかけ

混雑が予測された Osaka Metro 中央線各駅(堺筋本町駅以西)周辺の中央区や西区、万博会場周辺の港区や住之江区に所在する万博 TDM パートナー未登録の企業を対象に、会期終盤における万博 TDM パートナー登録及び万博 TDM の取組への協力を働きかけるはがき(ダイレクトメール)を送付した。

なお、万博 TDM パートナー未登録の企業の抽出にあたっては、2025(令和7)年 7 月 15 日公開の国税庁事業所情報リストを活用した。

発送日： 2025年8月25日
 送付物： A4両面はがき
 送付数： 29,053通



図 6.15 はがき(ダイレクトメール)

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



②会期終盤に向けた「万博 TDM パートナー」への働きかけ

万博 TDM パートナーにも、会期終盤の取組への協力を働きかけるはがき(ダイレクトメール)を改めて送付した。毎日配信しているメールマガジンとは異なる媒体で働きかけを行うことで、万博 TDM パートナーの目に触れる機会を増やし、取組への協力依頼と更なる意識向上を図った。

発送日： 2025年9月25日
 送付物： A4両面はがき
 送付数： 1,625通

宛先

10月の2週間は特に混雑するで

万博TDMに協力してな!

10月の2週間は非常に混雑します

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
 通常 通常 通常 通常 通常 混雑 非常に混雑

万博開催期間 4/13~10/13

10月13日(万博閉幕日)までの交通混雑緩和にご協力をお願いします。

予測される主な交通混雑箇所

- 平日朝8時台~10時台のOsaka Metro中央線・御堂筋線
- 平日午前中の阪神高速道路東大阪線等、湾岸舞洲出口、会場周辺的一般道路

万博TDMでご協力いただきたい取組

- 移動量・配送量を削減**
 - テレワーク・在宅勤務・オンライン会議の推進
 - 社内便や定期便の共同配送
- 混雑する時間帯・時期を回避**
 - 時差出勤・フレックスタイム
 - 社内便や定期便の配送時間の変更
- 交通混雑を避けた場所・ルートへ変更**
 - 移動・通勤ルートの変更
 - 配送ルートの変更(混雑区間を迂回)

万博TDMにご協力をお願いします

★皆様にTDMの呼びかけのご協力をお願いします！
 本ダイレクトメールに記載されている「混雑する期間」「予測される交通混雑箇所」「万博TDMでご協力いただきたい取組」や、メールマガジンで発信している内容について、メール送付などにより、事業所内での呼びかけをお願いします。

★交通混雑予測情報を配信していますので、ご活用ください！
 Osaka Metro中央線(弁天町駅→船場駅)と、会場周辺道路における交通混雑予測等を、メールマガジン(平日のみ)や万博TDM専用ホームページにて発信しています。

★アンケートにご協力をお願いします！
 TDM取組状況や感想等についてのアンケート調査を予定しています。10月10日(金)配信(予定)のメールマガジンにてお知らせしますので、ご協力をお願いします。

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議

お問い合わせ 万博TDMパートナー登録制度事務局 大阪府・大阪府万博推進局 整備課課長
 Mail: tanpaku-saki@tanpaku.tdm.jp | Tel: 06-6590-7731

ホームページ 万博TDM専用ホームページ
<https://www.osakabankai.tdm.com/> こちらからもご覧いただけます。

図 6.16 はがき(ダイレクトメール)

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



b) ティッシュ配布の実施

Osaka Metro 中央線(朝潮橋駅からコスモスクエア駅間)の3駅において、朝と夕の通勤時間帯の駅利用者を対象に、会期終盤の取組への協力を呼びかけるティッシュを配布した。

配布駅：朝潮橋駅、大阪港駅、コスモスクエア駅
 実施日：2025年9月5日、8日
 実施時間：8:00～11:00、17:00～20:00
 配布物：ティッシュ
 配布数：10,000個



図 6.17 ポケットティッシュ(ラベル)

c) 広報誌掲載

大阪府政だより(6、8、10月号)や大阪市の広報誌(区広報誌6、8、9、10月号の全市情報部分)、交通円滑化推進会議の幹事団体の広報誌へ掲載し、万博TDMへの協力を呼びかけた。



図 6.18 大阪府広報誌掲載誌面

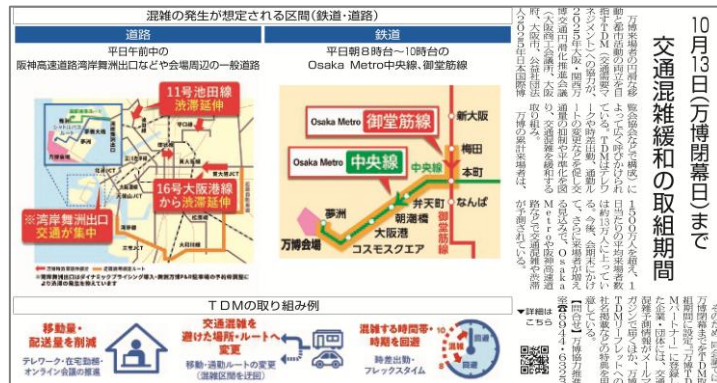


図 6.19 大阪商工会議所広報誌掲載誌面

4. 万博 TDM パートナー等への情報発信

万博 TDM パートナー及び府民・市民等に対して交通混雑状況を理解いただき、万博 TDM の取組への意識向上とともに、企業活動に活用してもらえるよう、万博 TDM パートナー向けのメールマガジンにて2025(令和7)年4月11日以降の毎平日において、最新の週間交通混雑予測情報を配信した。

また、配信日に応じ、万博 TDM に関する最新情報やキャンペーン情報等の万博 TDM パートナーの企業活動に有用な内容の配信も合わせて行った。

さらに、会期終盤の9月下旬には、阪神高速道路湾岸舞洲出口の道路交通量が増加傾向となった状況を踏まえ、万博TDMパートナーに対し、日々のメールマガジンの配信とは別に、会期終盤の混雑時間帯及び混雑区間を回避する取組への更なる協力を働きかけた。

加えて、大阪市公式 LINE を活用した配信も実施した。

(1) 交通混雑予測情報の算出

a) 鉄道(Osaka Metro 中央線の混雑率)

① 2025年4月11日から8月5日

大阪府・大阪市万博推進局にて予測を実施

[[「一般交通^{※1}(弁天町駅→朝潮橋駅区間)」+「万博交通^{※2}(弁天町駅→朝潮橋駅区間)]]
÷「輸送力」にて算定

※1 一般交通については、予測月の1年前の月の区間利用者数(弁天町駅→朝潮橋駅区間)をもとに、各曜日の平均利用者数を算定

※2 万博交通については、配信日時点での東ゲート来場者予約数をもとに算定

② 2025年8月6日から10月10日

Osaka Metro にて予測を実施

Osaka Metro が公表するOsaka Metro 全路線の列車混雑予測情報^{※3}を活用

※3 AIを活用して過去の列車の混雑データを学習させることで、1週間先までの列車の混雑状況を予測するもの。e METRO アプリとOsaka Metro公式ホームページで確認可能

b) 道路

- ・大阪市建設局にて予測を実施
- ・2週間前の当該日の混雑状況を算出

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



(2) 混雑予測情報の配信例(9月24日配信)

a) 鉄道(Osaka Metro 中央線 弁天町駅→朝潮橋駅区間)



図 6.20 鉄道混雑予測情報の配信例

b) 道路(会場周辺道路)

- ・湾岸舞洲 : 阪神高速道路 湾岸舞洲出口 合流部(高速ルート)
- ・白津 : 白津1丁目交差点(北ルート)
- ・咲洲(中央) : 咲洲トンネル西交差点(中央ルート)
- ・咲洲(南) : 咲洲トンネル西交差点(南ルート)



図 6.21 道路混雑予測情報の配信例

5. 大阪府・市部局との調整

(1) 万博会期中の勤務条件制度の取扱い(大阪市)

勤務条件制度所管部局との調整の結果、関係所属へ、下記のとおり周知が行われた。
(大阪府はテレワークの実施頻度に制限なし)

対 象 者： ATC 庁舎に通勤する職員
 テレワークの実施頻度： 週2日以内としているところを週4日以内とする
 対 象 期 間： 2025(令和7)年6月1日から10月13日まで

なお、会期終盤の最混雑期には、より万博TDMに取り組む必要があることから、各所属宛てに周知を行った。

(2) 万博会期中の交通混雑緩和の取組拡大

万博開幕から約2か月が経過し、来場者数が500万人を突破する中、6月以降は団体旅行等により、来場者数の更なる増加が見込まれることに加え、来場者の鉄道利用率が当初の想定以上であることから、更なる万博 TDM の取組が必要と判断し、2025(令和7)年6月3日付けで大阪府・大阪市万博推進局から大阪府・市の各部局へ万博TDMの取組拡大の協力を依頼した。

取組期間の変更内容：

- ・混雑する期間(6月1日～7月18日(6月30日から延期)、8月18日～9月30日)
- ・非常に混雑する期間(10月1日～10月13日)

通勤削減目標の変更内容：

対象職員	取組方針	取組目標	
		非常に混雑する期間	混雑する期間
咲洲庁舎・ATC庁舎	Osaka Metro中央線の混雑緩和に寄与	7割	3～5割*
大阪府庁・大阪市役所など※1	Osaka Metro中央線、御堂筋線の混雑緩和および大阪市内中心部の交通総量削減に寄与	3割	可能な範囲
大阪府市職員(上記除く)	Osaka Metro中央線、御堂筋線の混雑緩和および大阪府内全域の交通総量削減に寄与	可能な範囲	可能な範囲

※1 市役所の所属(副首都推進局、市政改革室、デジタル統括室、総務局、都市交通局、政策企画室、危機管理室、市民局、財政局、計画調整局、福祉局、健康局、子ども青少年局、都市整備局、会計室、教育委員会事務局、行政委員会事務局、市会事務局)、契約管財局、環境局(あべのルシアス)、消防局、港区役所

咲洲庁舎・ATC庁舎部局においては、6月1日～6月15日は3割の通勤削減、6月16日～7月18日及び8月18日～9月30日は、開幕後の状況を踏まえ、更なる取組目標として、可能な限り5割の通勤削減を目指す

また、大阪市会においては、大阪市役所が Osaka Metro 御堂筋線沿線に位置していることを鑑み、最混雑期の議会日程に配慮いただいた。

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



b) 検証結果

検証の結果、表6.7のとおり、万博TDM取組前(5月26日から30日)の平均混雑率は8時台が平均120%、9時台が114%、10時台が101%であることに對し、万博TDM取組週の6月で107%、103%、82%、8月で101%、87%、74%という結果となり、万博TDM取組週において、取組前(5月26日から30日)よりも混雑率が低く、万博来場者が徐々に増加傾向にある中で、目標値である混雑率120%を下回る結果となった。

万博 TDM パートナーや大阪府・市、博覧会協会等の取組が寄与したものと考えられる。

一方、9月では、119%、114%、112%、10月では、130%、129%、133%という結果となり、9月の10時台、10月の各時間帯において、万博TDM取組前より平均混雑率が高いことが確認された。加えて、10月においては、各時間帯とも、平均混雑率が目標値の120%を超過することが確認された。

この結果を受け、要因を探るべく、会期終盤の9月中旬以降に着目し、「弁天町駅→朝潮橋駅」における時間帯別の区間混雑率の推移等を確認した。

表 6.7 Osaka Metro 中央線(弁天町駅→朝潮橋駅) 区間混雑率の推移

	8時台(平均)	9時台(平均)	10時台(平均)
TDM 取組前〔5/26～5/30〕	120%	114%	101%
TDM 取組週〔6/2～6/30 平日〕	107%	103%	82%
〔8/18～8/29 平日〕	101%	87%	74%
〔9/1～9/30 平日〕	119%	114%	112%
〔10/1～10/10 平日〕	130%	129%	133%

出典：第6回 交通円滑化推進会議資料



出典：第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.23 Osaka Metro 中央線(弁天町駅→朝潮橋駅) 曜日別 区間混雑率推移(左から8時台、9時台、10時台)

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



その結果、会期終盤の9月中旬以降は、図6.24のとおり、万博来場者は連日20万人を超える状況が続いており、「弁天町駅→朝潮橋駅」間の区間混雑率も上昇傾向を示し、平均混雑率120%を超過することが確認された。

会期終盤の駆け込み需要による来場者増加は、なぜ目標値の120%を超過することとなったのか、その要因を3点推測した。

1点目が、Osaka Metro 中央線の機関分担率が、想定を上回る結果となったことである。

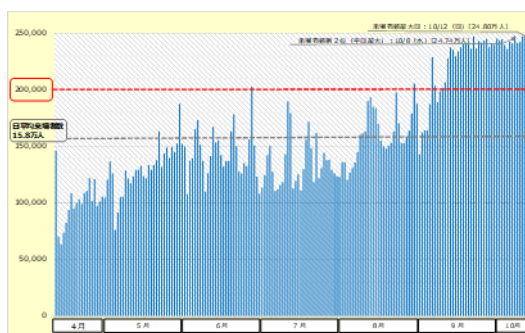
来場者輸送具体方針では、日計画来場者数 22.7 万人に対し、鉄道の機関分担率は約59%の想定であった。一方で、9月中旬以降、22万人/日以上が来場する中で、機関分担率が平均70%と想定を約10%上回る結果となり、これが要因の1つと推測された。

2点目が、来場者の来場時間の前倒しである。

会期終盤では、来場者が少しでも早く会場に入り、目当てのパビリオン等を体験するため、予約時間帯よりも早く、前倒しで来場し、入場待ちをするという傾向が見られた。特に12時から17時枠の入場日時予約者は、12時からすぐに会場内へ入場できるよう、前倒しで来場し、東ゲート前に多数待機する状況が発生したため、Osaka Metro中央線の10時台が非常に混雑するという傾向が見られた。この傾向が、図6.26に示すとおり8時台から10時台における夢洲駅降車人数の推移に表れている。9月中旬以降、各時間帯ともに降車人数が増加しており、この要因は、午前予約者が8時台、あるいは9時台に集中し、特に10時台については、11時台の前倒しに加え、12時予約者の前倒しがあったことによるものと推測される。

3点目が、会期終盤にOsaka Metro中央線沿線主要集客施設において、大規模イベントが開催されていたことである。集客施設においても、ホームページ上でニュートラム利用による迂回の呼びかけ等を実施していたものの、会期終盤に実施された大規模イベントに多数の来訪者があり、鉄道の混雑率の増加に影響したものと推測される。

以上のとおり、会期終盤に、混雑率の達成目標 120%を超過する結果となったものの、万博TDMの取組の効果もあり、大きな混乱もなく来場者輸送が実施された。



出典：第6回 交通円滑化推進会議資料
図 6.24 大阪・関西万博来場者輸送実績



出典：第6回 交通円滑化推進会議資料
図 6.25 9月以降のOsaka Metro 中央線「弁天町駅→朝潮橋駅」区間混雑率推移



出典：第6回 交通円滑化推進会議資料
図 6.26 9月以降のOsaka Metro 中央線「夢洲駅」降車人数推移

(2) 道路(阪神高速道路)における効果検証

a) 検証内容

検証期間は、鉄道と同様に万博TDM取組期間である2025(令和7)年6月、及びお盆明けの8月18日から8月29日、そして会期終盤の9月、及び10月1日から10日の平日とした。比較週は来場者輸送具体方針に基づき、万博開幕前の通常時である2020(令和2)年10月とした。

検証区間は、来場者輸送具体方針での予測時点において渋滞の延長が予想されていた11号池田線、16号大阪港線、検証時間は、万博来場者と通勤等の経済活動が重なる平日7時台から11時台とした。

これらの前提条件のもと、11号池田線、16号大阪港線の2路線に着目し、来場者輸送具体方針によって設定された「通常時の最大渋滞長を超えない」という達成目標との比較検証を行った。



図 6.27 検証区間:11号池田線(塚本→福島)、16号大阪港線(東船場→西船場)

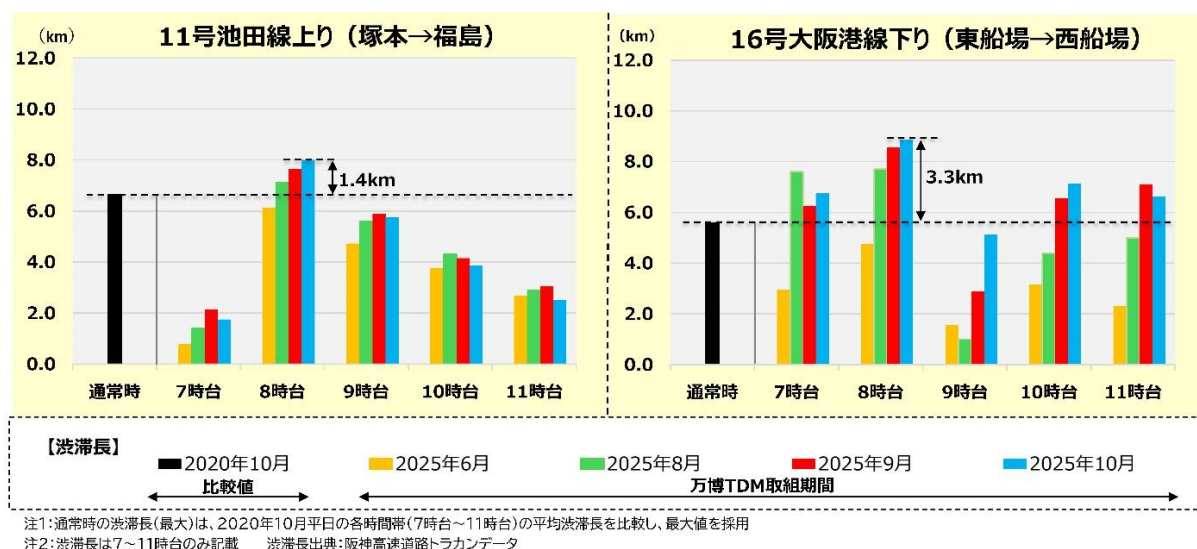


b) 検証結果

検証の結果、図6.28に示すとおり11号池田線は塚本を先頭に、6月では各時間帯の渋滞長は、通常時の最大以下となったが、8月、9月、10月の8時台においては、通常時の最大渋滞長(6.6km)を最大で1.4km超過した。

また、16号大阪港線についても、池田線と同様に、西船場を先頭に、6月では各時間帯の渋滞長は、通常時の最大以下となったが、8月、9月、10月の8時台において、通常時の最大渋滞長(5.6km)を最大で3.3km超過した。

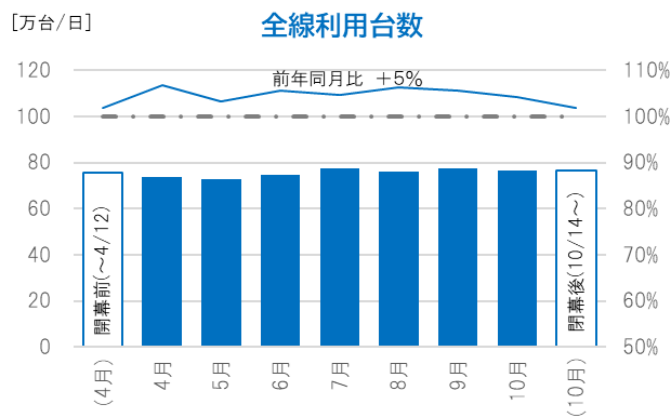
この結果については、2020年から2025年までにかけての阪神高速道路全体における交通量の増加や大規模更新の完了等による交通利用状況の変化、万博交通を含む日交通量の変動等、様々な要因が考えられる。



出典: 第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.28 11号池田線(塚本→福島)・16号大阪港線(東船場→西船場)における渋滞長(7時台～11時台)の推移

一方、万博会期中の阪神高速道路全線の利用台数を確認しても、前年同月に比べて利用台数に大きな変化は見られず、渋滞状況も万博開催前から大きな変化はないことが確認された。



出典: 大阪・関西万博 来場者輸送実績報告書

図 6.29 万博会期中における阪神高速道路の利用台数

(3) 道路(会場周辺道路)における効果検証

a) 検証内容

来場者輸送具体方針に具体的な取組目標は位置付けられなかったものの、阪神高速道路と同様に、万博TDMの取組への協力を働きかけていた万博会場周辺道路の主要な交差点等の4地点(阪神高速道路湾岸舞洲出口(高速ルート)、白津1丁目交差点、咲洲トンネル西交差点(南・中央ルート)を検証箇所とした。

検証期間は、鉄道や道路(阪神高速道路)と同様に、万博TDM取組期間である2025(令和7)年6月、及びお盆明けの8月18日から8月29日、そして会期終盤の9月、ならびに10月1日から10月10日の平日とした。比較週は万博TDM取組前の直近週である5月26日から5月30日とした。なお、5月26日の週のデータが、通信障害で一部欠損していた咲洲トンネル西交差点(南・中央ルート)については、5月12日から5月16日とした。

検証時間は、混雑が想定される平日8時台から10時台とした。

検証内容としては、当該4地点を通過する車両台数(pcu/h^{*})により、交通量の変化及び交通容量に対する交通量を確認した。

※pcu(passenger car unit):通行する交通がトラック等の大型車、二輪車等を含まず、乗用車だけから構成されている場合における通行台数を示すもの。大型車の通行台数は小型車の2倍として計上する。



図 6.30 検証箇所: 阪神高速道路湾岸舞洲出口(高速ルート)、白津1丁目交差点、咲洲トンネル西交差点(南・中央ルート)

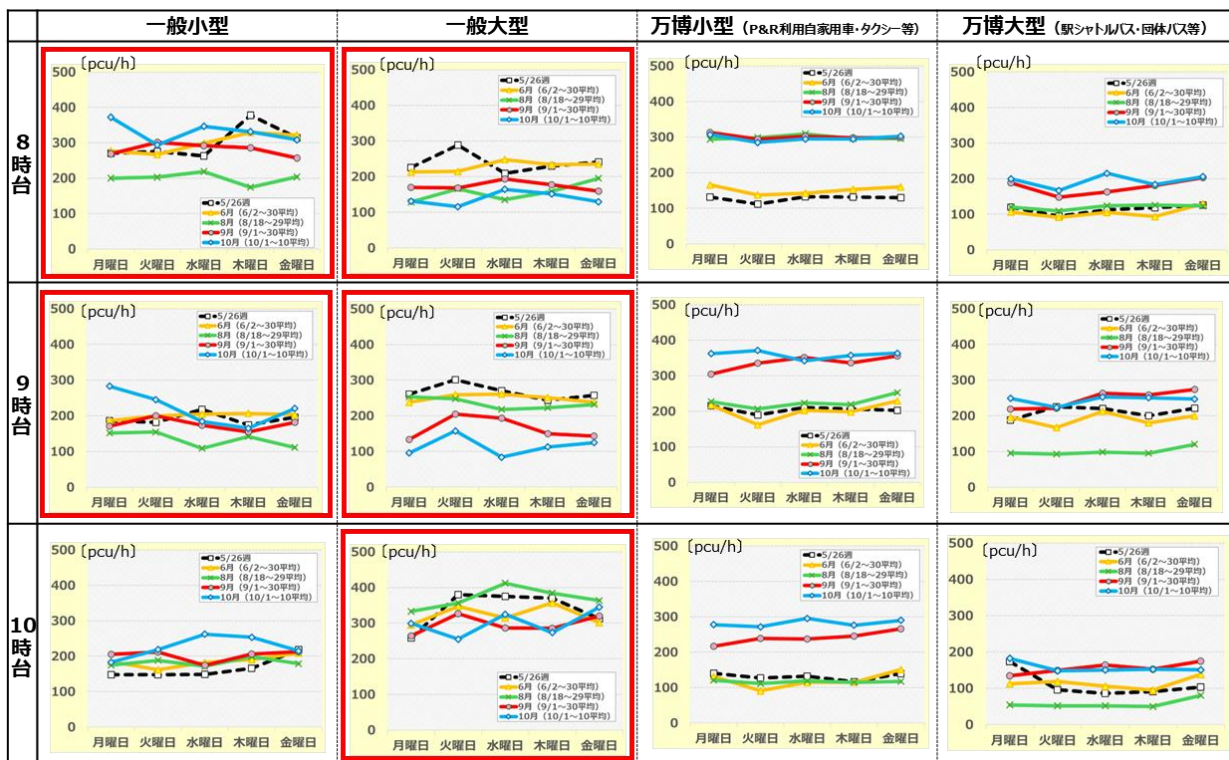
第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



b) 検証結果

図6.31に示すとおり、阪神高速道路湾岸舞洲出口(高速ルート)について、車両種別に一般車両の小型・大型^{※1}、万博車両の小型・大型^{※2}に細分化して、検証を行った。

結果、車両種別では、一般小型の8時台、9時台の8月、一般大型の8時・9時・10時台の8月、9月及び10月において、減少傾向が確認され、一つの要因として万博TDMによる効果と推測される傾向が確認された。



※1 一般(小型):万博関連車両、IR 関連車両、コンテナ車両を除き、自動車登録番号標の分類番号が3、4、5、6、7の車両

一般(大型):万博関連車両、IR 関連車両、コンテナ車両を除き、自動車登録番号標の分類番号が1、2、8、9、0の車両

※2 万博(小型・大型):万博来場を目的とした車両。

出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.31 阪神高速道路湾岸舞洲出口(高速ルート)の交通量(8時台~10時台)の推移(車種別)

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



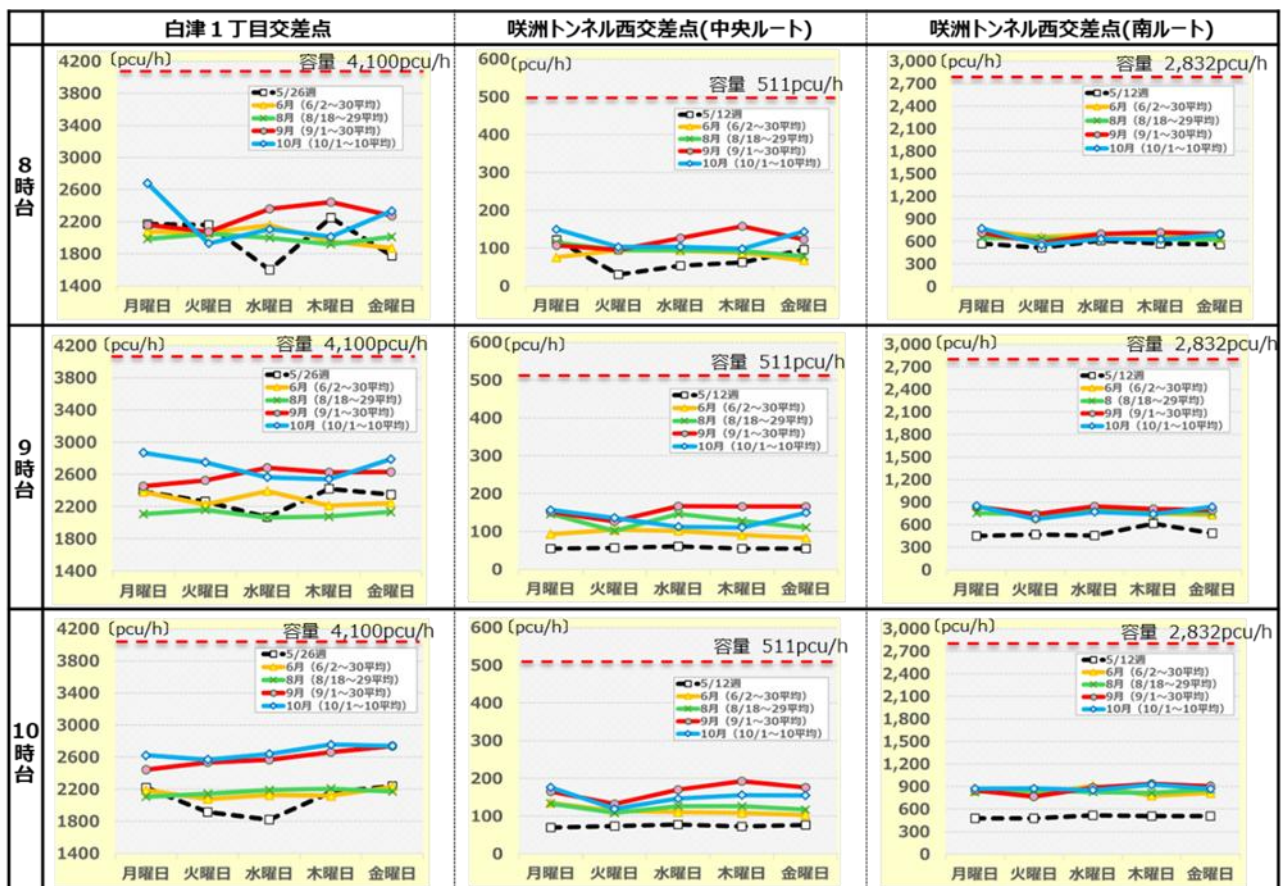
さらに、道路交通量については、最も道路交通量が多かった10月の10時台においても、交通容量に対し20%弱下回っており、交通混雑の発生は確認されなかった。

表 6.8 阪神高速湾岸舞洲出口(高速ルート)の交通量(8時台~10時台)と容量比(全数)

	5/26 週の平均		6月 (6/2-30 平均)		8月 (8/18-29 平均)		9月 (9/1-30 平均)		10月 (10/1-10 平均)	
	車両台数 (pcu/h)	容量比	車両台数 (pcu/h)	容量比	車両台数 (pcu/h)	容量比	車両台数 (pcu/h)	容量比	車両台数 (pcu/h)	容量比
8時台	822	61%	835	62%	827	61%	987	73%	1,008	75%
9時台	995	74%	968	72%	827	61%	1,062	79%	1,063	79%
10時台	889	66%	890	66%	881	65%	1,057	78%	1,122	83%

出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

また、白津1丁目交差点、咲洲トンネル西交差点(南・中央ルート)についても、各時間帯別の全数(車種計)を比較した結果、3地点とも交通量の減少傾向を確認するには至らなかったものの、いずれも交通容量に対し道路交通量は十分下回っており、混雑の発生は確認されなかった。



出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.32 白津1丁目交差点、咲洲トンネル西交差点(南・中央ルート)の交通量(8時台~10時台)の推移



7. 万博 TDM パートナーや個人(主に駅利用者)の取組状況

(1) アンケート結果について

a) アンケート対象及び分析手法

万博 TDM パートナーに登録している企業等及び個人(主に駅利用者)を対象にアンケートを実施した。

分析は、「万博 TDM パートナー」と「個人(駅利用者)」別に、万博会期中における万博 TDM の取組結果を取りまとめた。

なお、10 月は万博 TDM パートナーからのアンケート回収率向上を図るため、アンケート協力依頼のリマインドメールの配信や電話での協力依頼を行った結果、6 月より回収数が増加した。

表 6.9 属性別万博 TDM アンケート実施対象数

NO	対象分類	対象	方法	目的	回収数	
					6月	10月
1	企業	TDM パートナー企業	・TDM パートナー企業へのメールマガジンでアンケートを配信	・TDM パートナー企業の取組状況や課題を把握	322件 パートナー1, 529件 アンケート回収期間 6月20日～7月14日 (25日間)	636件 パートナー1, 644件 アンケート回収期間 10月10日～11月6日 (28日間)
2	駅利用者 (WEB)	大阪府+近隣市に居住し、通勤で8、9、10時台に鉄道を利用されている方	・楽天インサイトのWEB モニターを対象に条件に該当する方を抽出し回答を回収 ・TDM パートナー専用 HP にて回答を回収	・認知度や駅利用者の取組状況を把握	12,172人 内、中央線及び御堂筋線利用者 3,130人 その他の鉄道利用者 9,042人	12,167人 内、中央線及び御堂筋線利用者 3,229人 その他の鉄道利用者 8,938人

※本アンケートについては、任意の協力によるものであるため、回答がいただけなかった企業の取組状況は不明

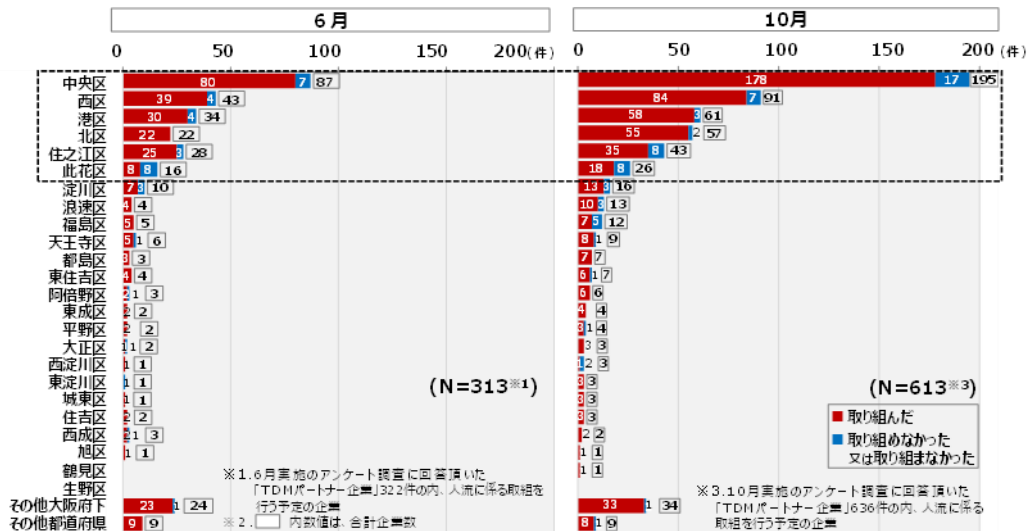
出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



b)「万博 TDM パートナー」の取組分布[人流]

アンケートに回答頂いた企業等においては、6月・10月ともに、開幕前より重点的に広報を行った Osaka Metro中央線沿線区(本町駅以西)である中央区・西区・港区や、Osaka Metro御堂筋沿線の北区、会場周辺区である住之江区・此花区が上位であった。



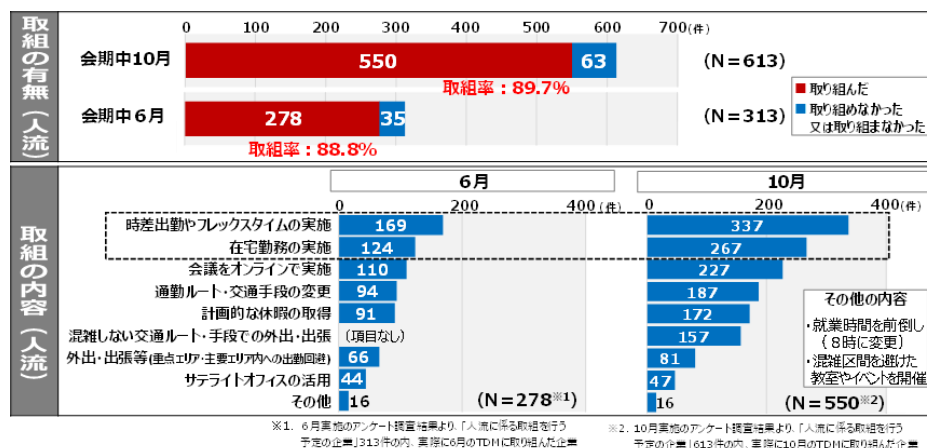
出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.33 万博 TDM パートナーにおける人流に係る取組を行う企業の分布

c)「万博 TDM パートナー」の取組状況[人流]

「人流」に係る取組を実際に行った「TDM パートナー」の取組割合は、6月・10月ともに約90%と高い結果となった。

取組内容は、6月・10月ともに「時差出勤やフレックスタイムの実施」「在宅勤務の実施」が上位となった。また、自由回答では「就業時間を前倒し(8時30分から8時に変更)」「混雑区間を避けた教室やイベントを開催」といった取組も見られた。



出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.34 「人流」に係る取組 万博 TDM パートナー

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組

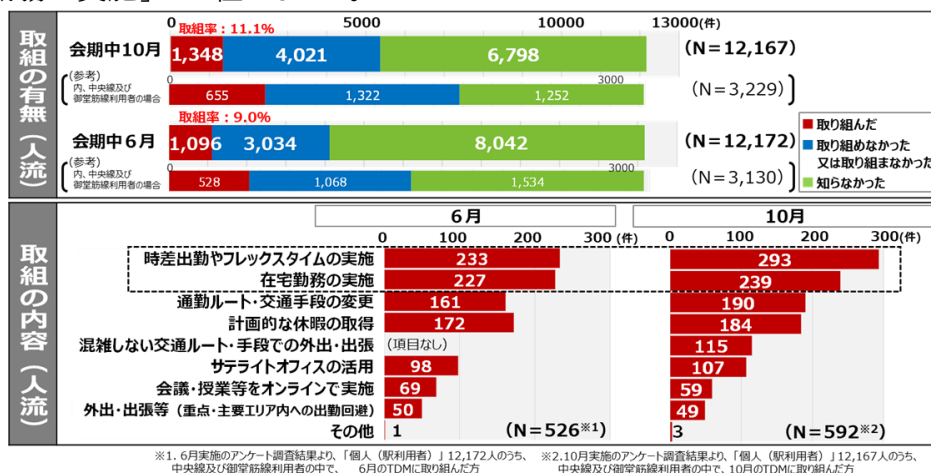


d)「個人(主に駅利用者)」の取組状況[人流]

10月に「人流」に係る取組を行った「個人(主に駅利用者)」の取組割合は、6月より増加した。しかし、「知らなかった」と回答した方の割合は、10月においても5割を超過していた。これは、アンケート調査の対象を、大阪府及び近隣市に居住し、8時台から10時台に通勤で鉄道を利用している方としており、重点エリアや主要エリアの鉄道を利用していない方も含まれているためと想定された。

一方、重点的に広報を実施したOsaka Metro中央線及び御堂筋線利用者に限定的な場合は、6割強が万博 TDM の取組を認識していたことを確認した。

取組内容は、「万博 TDM パートナー」と同様に、6月・10月ともに「時差出勤やフレックスタイムの実施」「在宅勤務の実施」が上位となった。



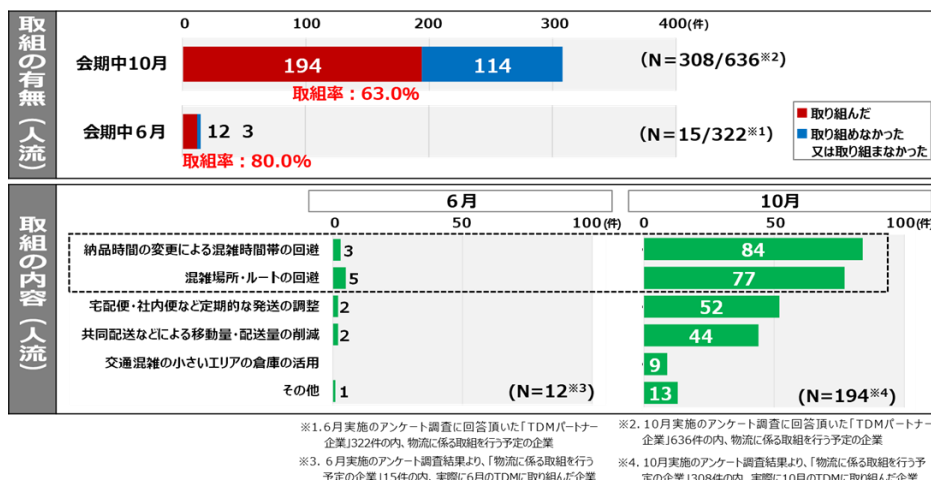
出典: 第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.35 「人流」に係る取組 個人(主に駅利用者)

e)「万博 TDM パートナー」の取組状況[物流]

10月は6月のアンケートより回収数が大きく増加し、また10月に「物流」に係る取組を実際に行った「万博 TDM パートナー」の取組割合は、約63%となった。

取組内容は、6月・10月ともに「混雑時間帯の回避」「混雑場所・ルートの回避」が上位となった。



出典: 第6回 交通円滑化推進会議資料

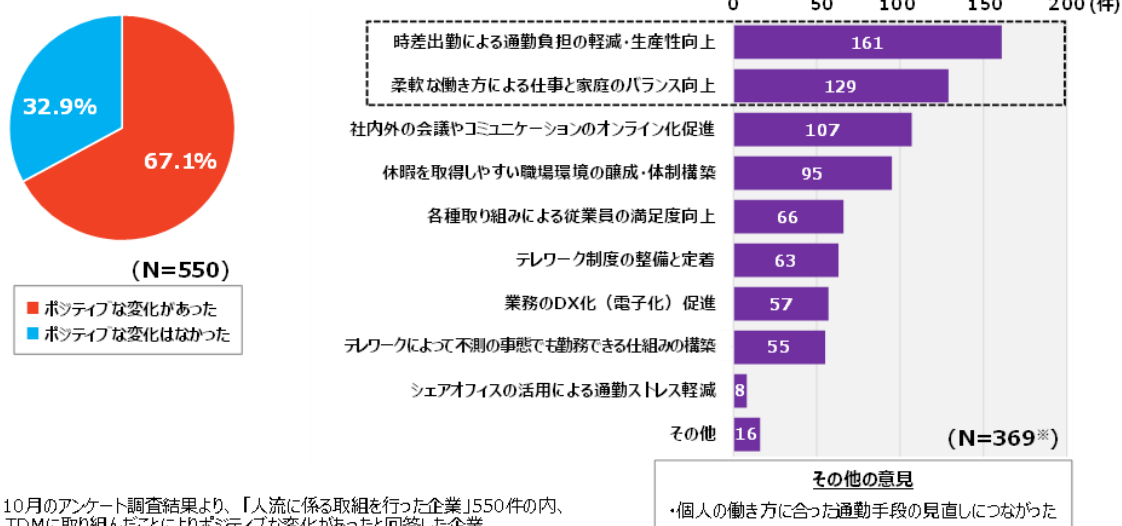
図 6.36 「物流」に係る取組 万博 TDM パートナー



f) 「万博 TDM パートナー」の取組によるポジティブな変化[人流]

万博会期中に「人流」に係る万博 TDM に取り組んだ「万博 TDM パートナー」のうち、約 67% が万博 TDM に取り組んだことによるポジティブな変化を実感した。

変化の内容は、「時差出勤による通勤負担の軽減・生産性向上」「柔軟な働き方による仕事と家庭のバランス向上」が上位となった。



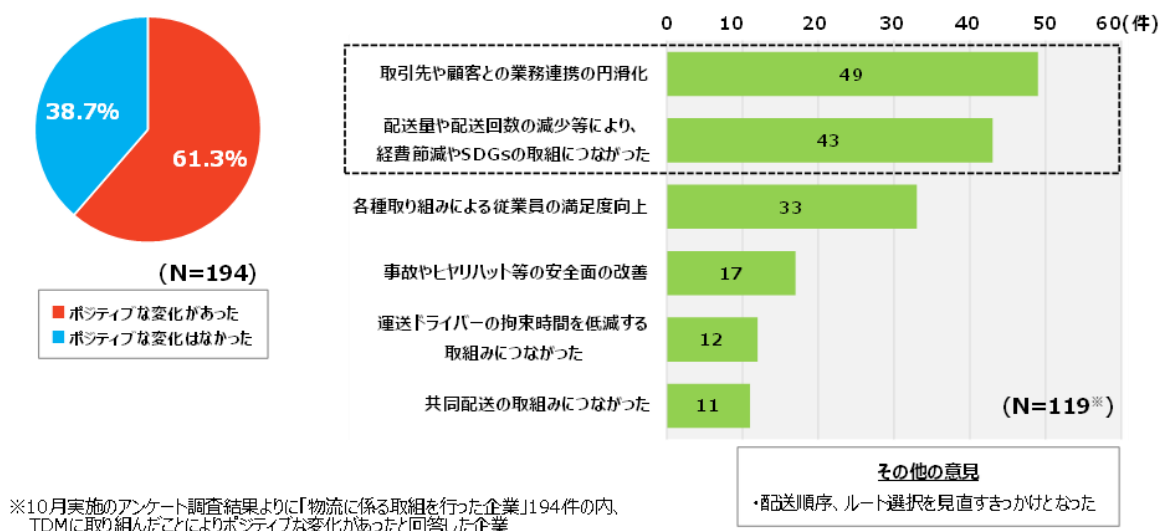
出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.37 変化の有無(人流)、ポジティブな変化の内容(人流)

g) 「万博 TDM パートナー」の取組によるポジティブな変化[物流]

万博会期中に「物流」に係る万博 TDM に取り組んだ「万博 TDM パートナー」のうち、約 61% が万博 TDM に取り組んだことによるポジティブな変化を実感した。

変化の内容は、「取引先や顧客との業務連携の円滑化」「配送量や配送回数の減少等により、経費節減やSDGsの取組につながった」が上位となった。



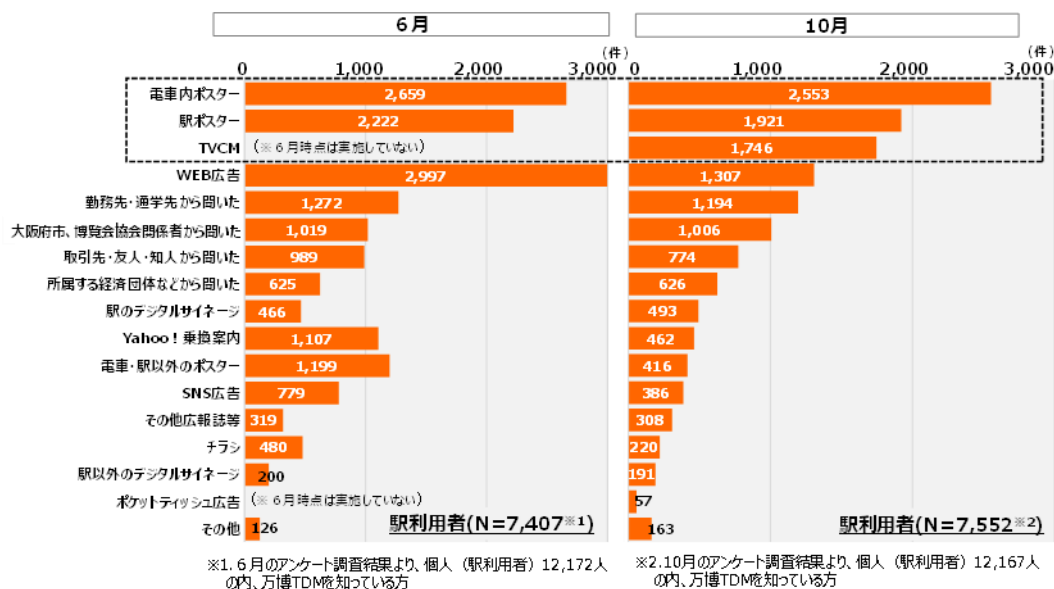
出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.38 変化の有無(物流)、ポジティブな変化の内容(物流)

h) 万博 TDM の周知方法

「個人(主に駅利用者)」を対象とした万博 TDM の各周知方法による認知数は、6 月・10 月ともに「鉄道車両広告(電車内・駅ポスター)」が認知手段の上位となった。

また、10 月においては会期終盤の広報強化に伴い実施した「テレビ CM」が、認知手段の上位となった。テレビ CM の印象が強く、WEB 広告については、6 月より継続して行ってきたが、次点となった。



出典: 第6回 交通円滑化推進会議資料

図6.39 「個人」を対象とした万博 TDM の各周知方法による認知数

(2) 万博 TDM アンケート結果のまとめ

本アンケート結果より、「鉄道車両広告」や「テレビ CM」が認知手段の上位であり、これまで実施した広報等が万博 TDM の理解促進に寄与したことを確認した。

また、万博 TDM パートナーからは、万博 TDM の取組の結果、ポジティブな変化を実感した一方で、今後、更なる万博 TDM の理解促進のためには、勤務体制や関係先との調整に十分な時間が必要であるといった意見が寄せられた。

(3) 万博 TDM パートナーの取組事例

積極的に万博 TDM に取り組んでいただいた企業((株)LIXIL、ミズノ(株)、関西電力(株)・関西電力送配電(株)、NTT西日本(株)、(株)オプテージ、りそなグループ、(株)ロイヤルホテル、(株)エクシオテック)の取組事例を交通円滑化推進会議(第5回、第6回)で紹介した。



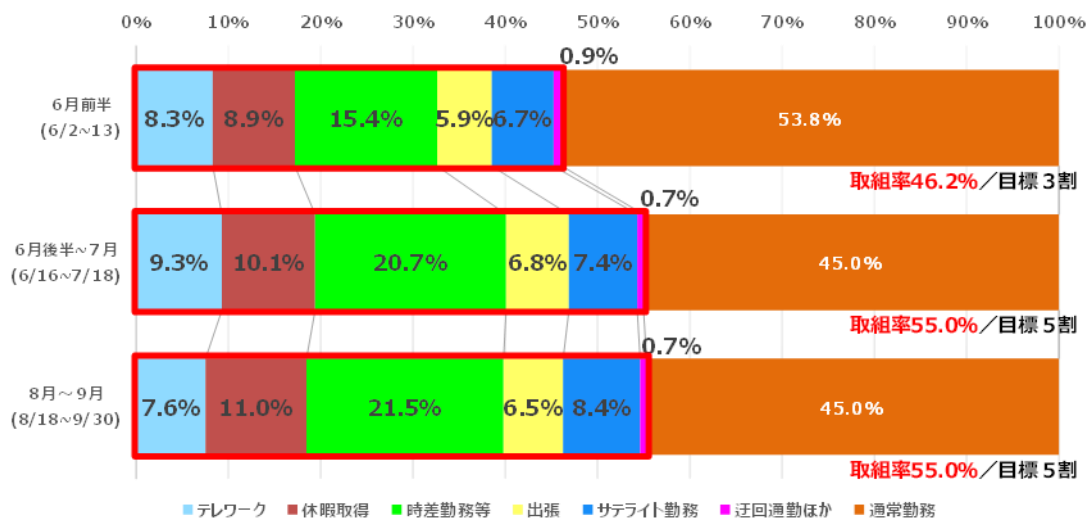
8. 大阪府・市等の取組

(1) 大阪府・市職員の万博 TDM 取組結果

6月から9月は咲洲庁舎・ATC 庁舎部局(約 3,700 人)において、8時台から 10 時台に Osaka Metro 中央線の混雑回避の取組を実施した。

6月前半は取組目標3割に対して約 46%、6月後半から7月、8月から9月は取組目標5割に対して約 55%と、いずれも目標を上回る取組を実施した。

取組内容は「時差勤務等」が最も多く、次いで「休暇取得」「テレワーク」が多い傾向であった。



出典: 第 6 回 交通円滑化推進会議資料

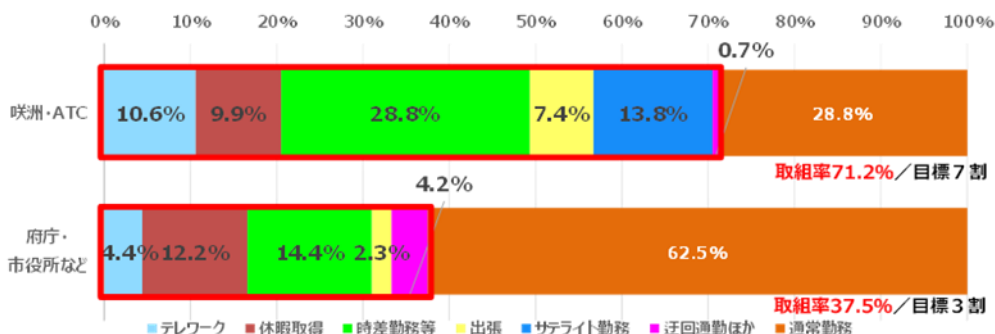
図 6.40 大阪府・市職員の万博 TDM 取組結果(6~9月)

10月には咲洲庁舎・ATC 庁舎部局(約 3,700 人)に加えて、大阪府庁・大阪市役所等(約 1万 330 人)において、8時台から 10 時台に Osaka Metro 中央線(府庁・市役所等では御堂筋線等を含む)の混雑回避の取組を実施した。

咲洲庁舎・ATC 庁舎では、取組目標7割に対して約 71%、大阪府庁・大阪市役所等では、取組目標3割に対して約 38%と、いずれも目標を上回る取組を実施した。

取組内容は、共に「時差勤務等」が最も多く、「休暇取得」「テレワーク」が多い傾向であった。

咲洲庁舎・ATC 庁舎部局においては、取組目標7割を達成するため、「時差出勤等」「サテライトオフィス勤務」が5%以上増加した。



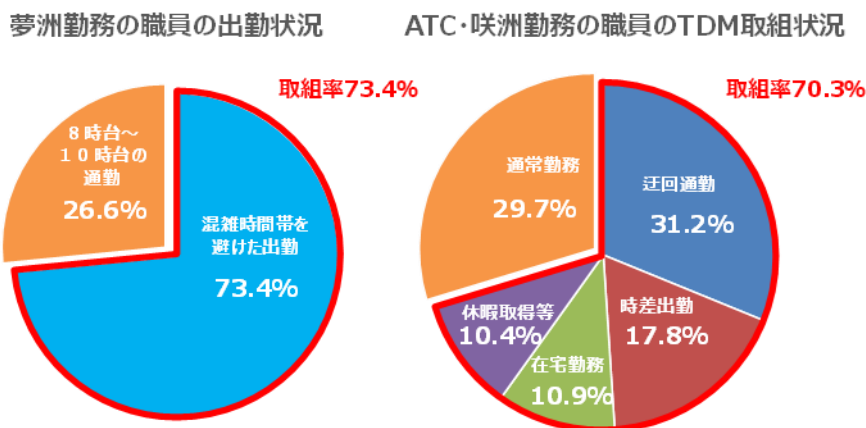
出典: 第 6 回 交通円滑化推進会議資料

図 6.41 大阪府・市職員の万博 TDM 取組結果(10月)



(2) 博覧会協会職員の万博 TDM 取組結果

博覧会協会職員約800人のうち、夢洲勤務は約8割、ATC・咲洲勤務は約2割である。取組の割合については、夢洲勤務の職員は約73%が混雑時間帯(8時台から10時台)を避けた出勤、ATC・咲洲勤務の職員は迂回通勤、時差出勤等で約70%が万博 TDM に取り組んだ。



※6/1～30,7/1～18,8/18～10/13の平日を集計

出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.42 博覧会協会職員の万博 TDM 取組結果

(3) 国機関の職員の万博 TDM 取組について

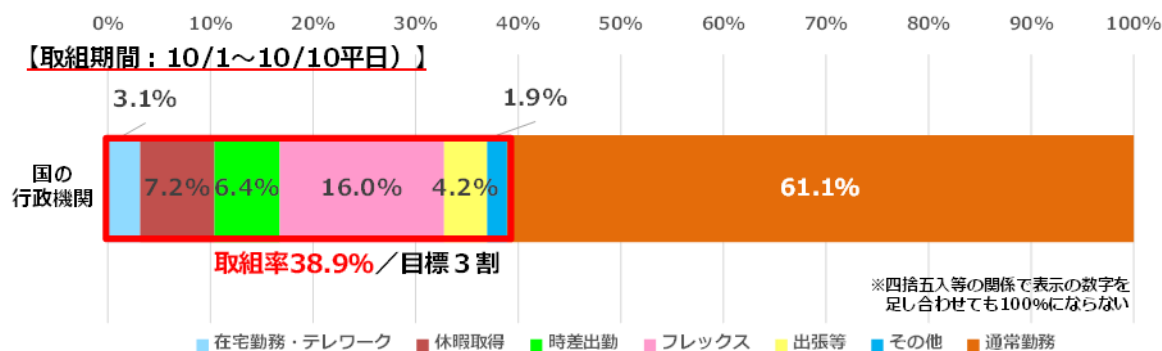
2024(令和6)年8月16日付けで、交通円滑化推進会議 会長から国際博覧会担当大臣あてに万博 TDM の取組への協力を依頼したことにより、大阪市域の国機関においてトライアル期間、TDM を「呼びかける」期間、TDM を「強く呼びかける」期間に万博 TDM を実施した。

TDM を「強く呼びかける」期間に、大阪市域の国機関に勤務する常勤職員※(8,065人)を対象に、万博 TDM として、8時台から10時台に Osaka Metro 御堂筋線梅田駅から本町駅、中央線本町駅から夢洲駅を含む経路の乗車回避等を実施した。

10月1日から10月10日の平日において、取組目標3割に対して約39%と目標を上回った。

取組内容は、「フレックス」勤務が最も多く、「休暇取得」「時差勤務」が多い傾向であった。

※TDM 実施により業務に支障が生じる危機管理業務・窓口業務の担当職員や交替制勤務の職員を除く



出典:第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.43 国機関の職員の万博 TDM 取組結果

9. 万博 TDM 取組結果のまとめ

鉄道に関しては、万博 TDM 取組期間の 6 月・8 月は達成目標である Osaka Metro 中央線の平均混雑率 120% 以下を達成した。一方、会期終盤の 9 月中旬以降、想定を上回る Osaka Metro の機関分担率や来場時間の前倒しによる急増、Osaka Metro 中央線沿線主要集客施設における大型イベント等の影響により、平均混雑率が 120% を超過したものの、万博 TDM の効果もあり、大きな混乱なく万博来場者輸送を実施することができた。

道路に関しては、平日午前中の阪神高速道路において、「渋滞長が通常時の最大を超えない」という目標に対して、通常時よりも渋滞長が超過する日・時間帯があったものの、阪神高速道路全線では利用台数に大きな変化は見られず、渋滞状況も万博開催前から大きな変化は見られなかった。また、会場周辺道路においては、道路交通量が多い場合でも交通容量に対して道路交通量が下回る結果となった。

これらの結果から、総じて、万博 TDM の取組にご賛同いただいた府民市民、万博 TDM パートナー、主要集客施設等の取組により、万博会期を通して円滑な来場者輸送と経済活動の両立に寄与できたものと考えられる。

さらに、今回の万博 TDM の取組を踏まえて、今後の大型イベントの企画時において、TDM の効果をより高めるためのポイントとして、以下の 2 点を整理した。

1 点目は、企業や府民・市民等への TDM 理解促進である。

企業等に対し、TDM の必要性についての理解や行動変容を促すため、官民一体となった検討体制の構築、イベント本番時期を見据えたトライアルや戦略的な広報を実施することが重要である。また、TDM への協力促進のための魅力的なインセンティブを用意することが重要である。

2 点目は、十分な準備時間の確保である。

アンケートでの課題にもあったが、TDM 実施に伴う「業務の DX の推進」や「勤務体制の調整」「関係者や取引先との調整」について、一定の時間を要することから、実施時期を見据えた十分な準備時間を確保することが重要である。

10. その他の関連取組

利用者の自発的な行動変容を促すため、民間企業や鉄道事業者と連携し、混雑回避行動に対してインセンティブを付与する施策を展開した。

(1) Osaka Metro 万博 TDM 推進キャンペーン

Osaka Metro 中央線の混雑緩和を目指し「万博 TDM 推進キャンペーン」を展開した。ニュートラムへの迂回利用やピーク時(8 時台)を避けた利用に対し、「e METRO アプリ」を用いた二次元コード読取を条件にポイントを付与した。特に最も混雑する 2025(令和7)年 10 月は 2 倍のポイントを進呈した。このキャンペーンにより、平日の通勤時間帯における混雑の平準化と、スムーズな輸送ネットワークの維持を図った。

■大阪・関西万博開催期間中の「万博TDM推進キャンペーン」の実施について Osaka Metro

1 概要
 中央線のご利用から、比較的混雑が少ないニュートラムへの迂回かつ時差出勤にご協力いただいたお客さまに対して e METROアプリを活用して、Osaka Point をプレゼントします。
 住之江公園駅とコスモスクエア駅、トレードセンター前駅、中心頭駅、フェリーターミナル駅に「QRコード用紙」を設置しておりますので、迂回されるお客さまが e METROアプリで、7時台から10時台(8時台は除く)または16時台から20時台に、「住之江公園駅」と「コスモスクエア駅、トレードセンター前駅、中心頭駅、フェリーターミナル駅のいずれか1駅」の計2箇所 QRコードを読み取っていただくことが条件となります。
さらなる混雑が予想される会期終盤の10月により多くのお客さまにTDMにご協力いただくため、通常時の2倍のポイントをプレゼントします。

<QRコード・ポイント取得のイメージ>

対象駅
QRコード読取

【出勤時】
7時台～10時台(8時台は除く)

住之江公園駅で QRコード読取
+

NT対象駅いずれかで QRコード読取

9月: 30pt付与
10月: 60pt付与

【退勤時】
16時台～20時台

住之江公園駅で QRコード読取
+

NT対象駅いずれかで QRコード読取

9月: 60pt付与
10月: 120pt付与

2 実施期間
 2025年6月2日(月)から2025年6月30日(月)、2025年8月18日(月)から2025年10月10日(金)の平日(注)ただし、QRの読み取り有効時間は、7時台から10時台(8時台は除く※)と、16時台から20時台に限りです。
 この時間帯以外にQRコードを読み込まれた場合は無効となります。
 ※8時台は列車の混雑が著しいため、7時台・9時台から10時台に迂回時差出勤をお願いいたします。

3 ポイント詳細
 迂回にご協力いただき、7時台から10時台(8時台は除く)または16時台から20時台に、QRコードを2箇所で読み込まれたお客さまには e METROアプリにて Osaka point を30ポイントプレゼントします。なお、おひとりさま1日あたり60ポイントの付与を上限とします。ポイントは、後日付与いたします。
2025年10月1日(水)から2025年10月10日(金)の平日については、1回あたりの付与ポイントを60ポイントに変更し、おひとりさま1日あたり120ポイントの付与を上限とします。

出典：第5回 交通円滑化推進会議資料


図6.44 万博 TDM 推進キャンペーン(万博会期中)

(2) 万博 TDM タッチ決済キャンペーン

万博 TDM に賛同したカード会社等の協力により、「万博 TDM タッチ決済キャンペーン」を実施した。

2025年8月18日から10月13日の期間中、Osaka Metro 全線にてオフピーク時間帯(11:00 から 15:59)にクレジットカード等のタッチ決済で乗車または降車をした利用者に対し、運賃の30%を即時キャッシュバックするもので、このキャンペーンにより混雑時間帯の回避を促した。



■万博TDM タッチ決済キャンペーンの実施について	
<p>2025年8月18日(月)～10月13日(月)のオフピーク時間帯(11:00～15:59)にOsaka Metro線内にてクレカ等のタッチ決済を利用して乗車または降車いただくと30%を即時キャッシュバックいたします。</p> <p>※府市が実施する万博TDMの取組に賛同したカード会社等の協力を得て実施するキャンペーンです。</p>	
1 キャンペーン期間	2025年8月18日(月)～2025年10月13日(月)まで
2 特典	<p>キャンペーン期間中の11:00～15:59にOsaka Metroの駅で乗車または降車いただくと、30%即時キャッシュバックされます。</p> <p>※利用金額請求時には30%の即時キャッシュバック金額を差し引いた金額が表示されます。</p> <p>※阪急電鉄、北大阪急行、近畿日本鉄道などのOsaka Metro以外の各社の相互乗り入れ区間はキャンペーン対象外となります。</p> <p>※11:00や16:00付近に乗車または降車された場合、接続環境により、タイムラグ等が発生して対象外と判定される場合があります。時間に余裕をもったご利用をおすすめいたします</p>
3 対象の鉄道事業者	<p>Osaka Metro</p> <p>※Osaka Metroと相互直通運転している北大阪急行、近畿日本鉄道、阪急電鉄などの各社はキャンペーンの対象外です。</p>
4 対象時間帯	11:00～15:59にOsaka Metroの駅で乗車、または降車いただく。
5 対象カード	<p>下記の対象カードの中でタッチ決済マークがあるものがご利用いただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、Discoverカード(クレジット・デビット・プリペイド) ・銀聯カード(クレジット)  <p>※プラスチックカード以外の形状(例:スマートフォン、ウェアラブルデバイス)を通じたカードのご利用も対象</p>

出典:第5回 交通円滑化推進会議資料

図6.45 万博 TDM タッチ決済キャンペーン



図 6.46 ポスターにおける Osaka Metro 万博TDM推進キャンペーン、万博TDMタッチ決済キャンペーンの掲載



11. 万博 TDM パートナー登録促進に向けた取組結果

(1) 広報の取組

万博 TDM パートナー登録促進に向けて、ポスター掲示やテレビ CM 等、広報に関する取組を交通円滑化推進会議の幹事団体である経済団体や鉄道事業者及び道路事業者等と連携し、広く働きかけを行った。

表 6.10 万博 TDM パートナー登録促進における主な取組

発信内容	開幕100日前から 万博開催まで (2025/1/6～ 4/12)	万博開催期間中 (4/13～10/13)	備考
ポスティング配布	約2,700社	－	・港区、此花区、住之江区に所在するTDMパートナー未登録企業
現地・オンライン説明会、 個別訪問実施	13回	－	・ATC、此花区、港区、住之江区等 ・大阪商工会議所 西支部運営委員会他
DM発送	約27,000社	約29,000社	・Osaka Metro主要駅や、会場周辺 に所在するTDMパートナー未登録企業
ポケットティッシュ配布	10,000個	10,000個	・コスモスクエア駅・大阪港駅・朝潮橋駅・本町駅等
メールマガジン発信	約6,600社	約24,700社	・大阪商工会議所、関西経済同友会、近畿経済産業局から配信
SNS投稿	6件	28件	・LINE、インスタグラム、X (旧Twitter)
ポスター掲示、チラシ配架 デジタルサイネージ等	約21,500部 約180箇所	約20,600部 約410箇所	・Osaka Metro主要駅 (本町駅等) ・国府市、阪神高速道路、鉄道事業者等の保有施設 ・大阪商工会議所、関西経済同友会、近畿経済産業局から配布
広報誌	5誌	15誌	・府市、港区、住之江区広報誌 ・関西鉄道協会、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会
動画配信	約185万回再生	約140万回再生	・YouTube、Osaka City TV
TVCM	－	約150回	・民放4社 (令和7年9月12日～10月12日)

出典：第6回 交通円滑化推進会議資料

(2) 各種インセンティブの取組

a) テストランへの招待

万博開幕前に会場内に来場者を招き、会場運営の試行を行うテストランの募集を行い、4,945名を招待した。

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



b)万博 TDM 出前授業

万博 TDM パートナーの職場等に大阪府・大阪市万博推進局の職員と万博公式キャラクターであるミャクミャクが訪問し、万博 TDM 等の PR を行った。

また、会期終盤に向けて万博 TDM の更なる機運醸成のため、2025(令和7)年9月16日から9月30日の内6日間で10事業所を追加で実施し、合計 20 事業所で実施した。

表6.11 実施日及び参加企業

実施日	参加企業	実施日	参加企業
2025年6月18日	(株)神戸製鋼所 大阪支社	2025年9月17日	大阪府印刷工業組合
2025年6月18日	富山県(大阪事務所)、 一般財団法人近畿富山会館	2025年9月18日	美原運送(株)
2025年6月25日	寺本運輸倉庫(株)	2025年9月18日	(株)コムフォート
2025年6月25日	大伸社グループ	2025年9月24日	住友金属鉱山(株)
2025年7月9日	洋也(株)	2025年9月24日	医療法人伯鳳会 はくほう会セントラル病院
2025年7月9日	(株)ミライト・モバイル・ウエスト	2025年9月25日	一般社団法人 全日本ノルディック・ウォーク連盟
2025年7月30日	社会保険労務士法人 和	2025年9月25日	株式会社 Dove Innovations
2025年7月30日	(株)スリート	2025年9月30日	(株)アサヒファシリティズ
2025年9月16日	大阪厚生信用金庫	2025年9月30日	医療法人白真会
2025年9月16日	(株)関塾		



写真 6.9 万博 TDM 出前授業の状況 出前授業風景(上段)・出前授業後(下段)

第6章 万博会期中の万博 TDM の取組



c) 大阪ヘルスケアパビリオン催事専用スペースの活用

大阪ヘルスケアパビリオンの催事専用スペース(ステージ・広場)において、万博 TDM パートナー 12 事業所がポスターやステージでの映像等を用いて、自社の万博 TDM の取組内容等を発信した。

表 6.12 実施日及び参加企業

実施日	参加企業	実施日	参加企業
2025年6月22日	大伸社グループ	2025年7月4日	大阪府印刷工業組合
2025年6月22日	STUDIO PORT MINA	2025年7月7日	ソルドジャパン(株)
2025年6月29日	カワテック(株)	2025年7月7日	合同会社 TRCordinator
2025年7月2日	一般社団法人 全日本ノルディック・ウォーク連盟	2025年7月15日	(株)千里カーゴサービス
2025年7月2日	(株)れんくる	2025年7月15日	(有)ネオ・ドリーム
2025年7月4日	(株)夢広	2025年7月22日	医療法人伯鳳会 はくほう会セントラル病院



写真 6.10 大阪ヘルスケアパビリオン催事専用スペースの活用状況
ステージでの発表(上段)・広場でのパネル展示(下段)

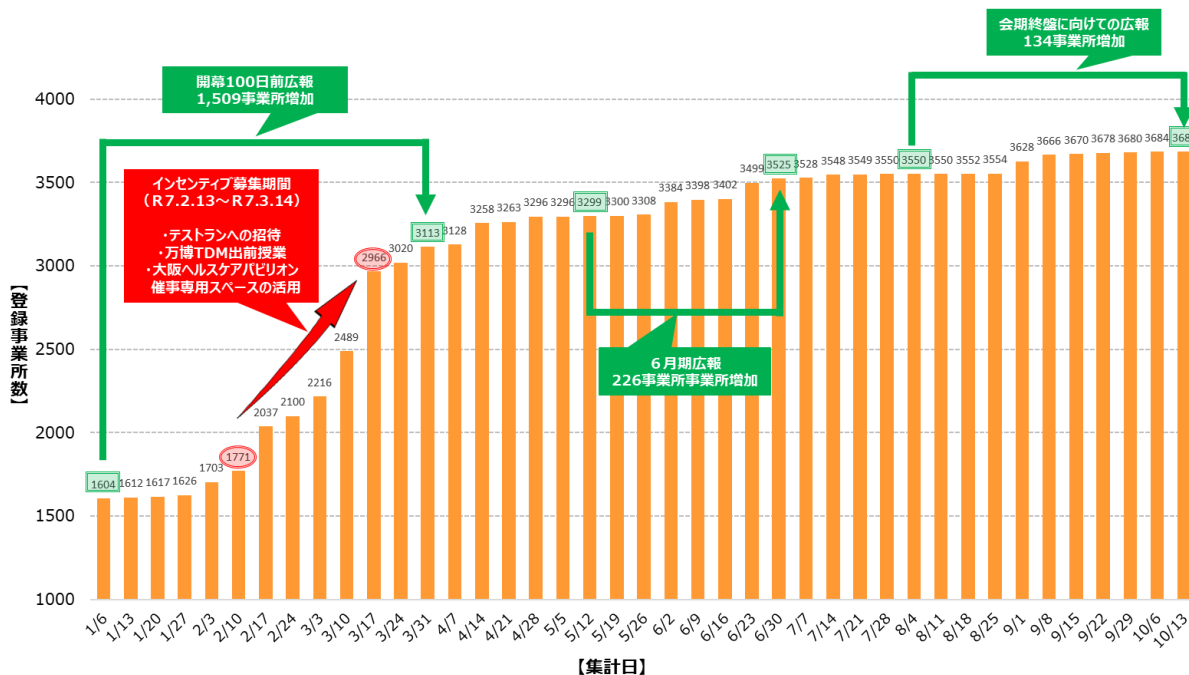


(3) 万博 TDM パートナー登録数の推移

インセンティブへの参加募集により 1,195 事業所が新たに登録し、登録数が大きく増加した。

さらに、開幕 100 日前・万博会期中の6月期、ならびに会期終盤に向けて実施した万博 TDM パートナー登録促進に向けた広報の効果もあり、最終的に 3,684 事業所に登録いただいた。

◆R7年1月～R7年10月の推移（最終登録数：1,644件、3,684事業所）



出典：第6回 交通円滑化推進会議資料

図 6.47 万博 TDM パートナー登録数の推移

(4) 万博 TDM パートナーへの御礼

閉幕後、下図のとおり、万博 TDM パートナーに向け、御礼状を送付した。

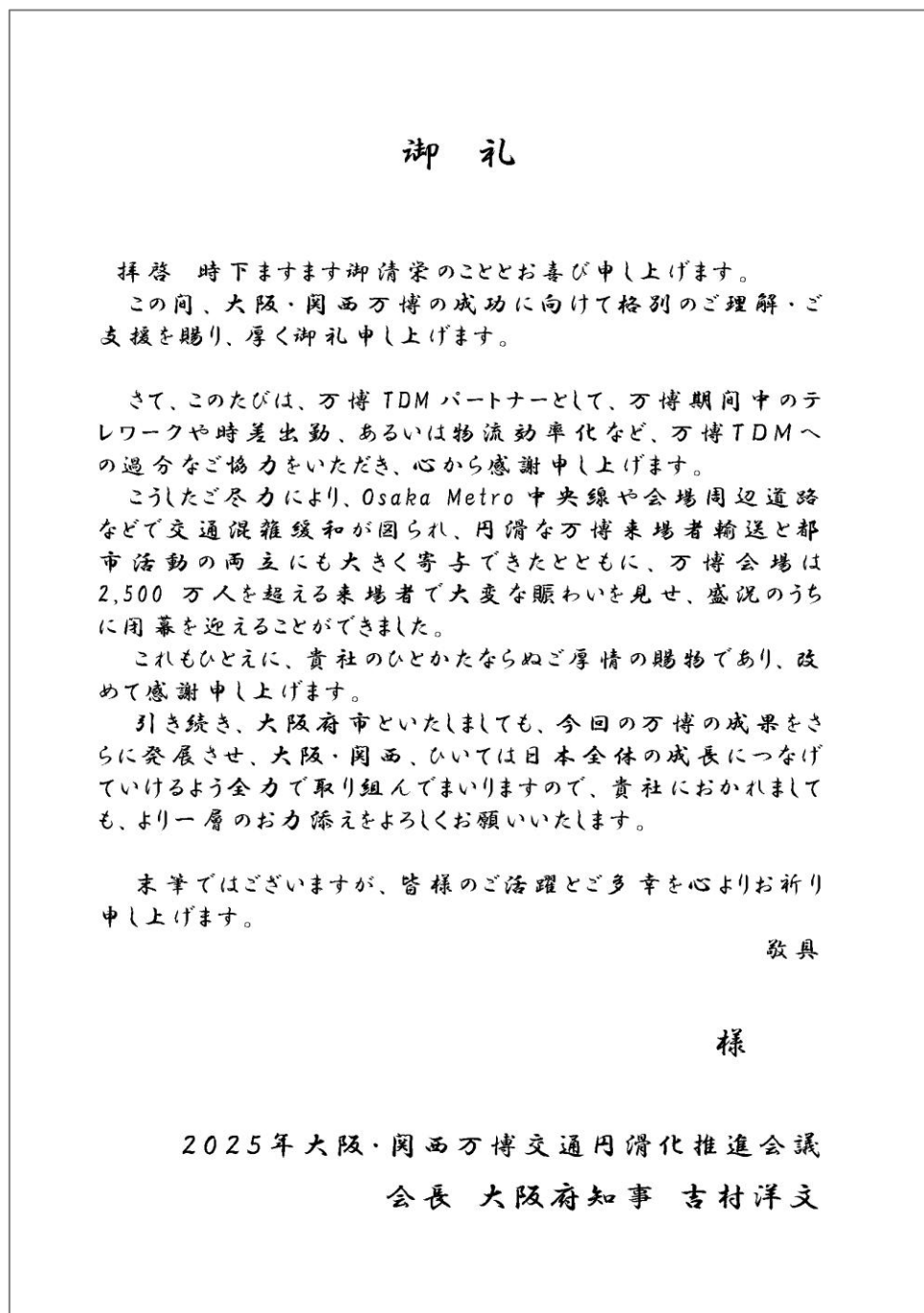


図 6.48 万博TDMパートナーへの御礼状

第7章 おわりに

1. 大阪府・大阪市特別参与及び有識者(交通円滑化推進会議 幹事会に参画)からのメッセージ



神田 昌幸
大阪府・大阪市 特別参与

メガイベントの輸送オペレーション・交通対策の難度は高い。主催者側がコントロール出来る会場内とは異なり、広く会場外の一般交通との共存・両立が求められるからだ。東京 2020 大会からは輸送／交通の二重構造を明確に意識し、交通対策は「交通マネジメント」と称して実施。特に TDM (交通需要マネジメント) は行政が中心になりつつ、交通事業者等関係機関や一般利用者の協力も得て全面展開で対策を実施することとなる。

大阪・関西万博では、知事が会長、大阪市長が会長代理の交通円滑化推進会議を設置し、実質的な推進・調整業務はその幹事会で行われた。鉄道や道路の交通容量に余裕が無い状況、さらに半年の長丁場であったが、万博の交通マネジメントは成功した。関係諸氏の真摯な努力とご協力頂いた全ての皆様に心より感謝申し上げたい。



塩見 康博
立命館大学 理工学部
環境都市学科 教授

万博 TDM に関わって大規模イベント時の交通マネジメント事例の調査をして気がついたのは、万博の特異性でした。既存事例の多くは数日から長くても 1 か月程度の「非日常」を対象としていますが、万博は 6 か月に及び、日常の中に非日常を組み込む対応が求められます。

開催頻度も低く、過去事例を参考にするのも難しい状況でした。そのような中で大きな混乱なく全期間を完遂できた背景には、市民や企業との丁寧なコミュニケーションによる信頼形成があったと考えます。未来技術の展示場であった万博が明らかとしたものの 1 つは、科学技術が進展してもなお重要なリアルな価値と対話の力であったように思います。この経験をしっかりアーカイブし、継承していただければ幸いです。



大庭 哲治
京都大学 経営管理大学院
教授

大阪・関西万博における TDM の推進は、行政や交通事業者にとどまらず、府民・市民、さらには万博 TDM パートナー企業の主体的な参画によって支えられた点に大きな意義があります。

通勤・通学時間の調整やテレワークの活用、来場時間の分散など、一人ひとりの行動変容が万博会場への交通アクセスの円滑化や、都市全体の円滑な交通運営につながることを、広報・情報発信を通じて丁寧に共有できたことは特筆すべき成果です。

TDM を「制約」ではなく「協働による都市運営」として理解頂けたことは、大阪・関西万博の重要なレガシーとして、今後の都市・交通政策や大規模イベント運営に確実に継承されていくものと考えています。



Jan-Dirk Schmoecker
京都大学大学院 工学研究科
准教授

大阪・関西万博は、来場者数が当初の予想を上回るなど、非常に大きな成功を収めました。

その一方で、大阪市民にかかる交通負荷は許容範囲に収まっています。長期間にわたる本イベントでは、来場者と地域住民の双方に配慮した交通マネジメントが求められ、これまでにない独自の課題が生まれました。

私は TDM 施策に携わることができたことを大変光栄に思います。企業に対して働き方の見直しを促しつつ、過度な混雑を防ぐという両立は、困難でありながらも非常に意義深い取り組みでした。

今後は、この TDM の経験が人々の移動行動にどのような長期的変化をもたらすのかを検証していきたいと考えています。



2. 謝辞

2025年(令和7)年4月13日に開幕を迎え、184日間という長きに渡り開催された大阪・関西万博は、同年10月13日に、約2,900万人を超える来場者で大変な賑わいを見せ、盛況のうちに閉幕を迎えることができました。

とりわけ、万博 TDM に関しては、2022(令和4)年12月に官民一体となった「2025 年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」の立ち上げ以降、万博会期中の円滑な来場者輸送と経済活動の両立に向け、企業や府民・市民等の皆さま、また、幹事団体や大阪府・市職員には、テレワークや時差出勤、あるいは物流効率化等、万博会期中の TDM への取組にご協力いただき、大変感謝申し上げます。

こうした皆さまの取組へのご協力により、Osaka Metro 中央線や会場周辺道路等の混雑が緩和され、来場者の安全・スムーズな移動と経済活動の両立に寄与したものと考えております。

今回、万博 TDM の取組内容について、取りまとめを行いました。ぜひ、大規模イベント等の実施時にご活用いただければと思います。

最後になりますが、万博 TDM の実施に際し、行き届かない点多々ありましたことをご容赦いただければ幸いです。

大阪府・大阪市万博推進局 整備調整部

表 7.1 大阪府・大阪市万博推進局 万博 TDM 歴代担当一覧

大阪府・大阪市万博推進局	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
理事	尾植 正順	尾植 正順	高橋 寛	高橋 寛
整備調整部 部長	荒木 敏	藤川 佳宏	藤川 佳宏	藤川 佳宏
整備調整部 整備調整課				
	小林 哲	小林 哲	小林 哲	小林 哲
	辻野 貴之	辻野 貴之	柏木 誠二	柏木 誠二
	藤本 将之	藤本 将之	藤本 将之	藤本 将之
			宇野 陽介	宇野 陽介
			船橋 康史	庄林 真吾
整備調整部 整備企画課				
	池 信儀	池 信儀	川合 卓爾	山岡 豊
	山崎 誠之	山崎 誠之	湯原 誠	湯原 誠
	澤野 泰明	澤野 泰明	澤野 泰明	稲山 貴一
	中江 貴紀	山本 一成	稲山 貴一	山本 一成
			山本 一成	